

檜葉町 住民意向調査 報告書

平成30年3月

復興庁
福島県
檜葉町

檜葉町 住民意向調査

報告書

目次

I 調査の概要	1
1-1 調査目的	3
1-2 調査内容	3
1-3 調査設計	3
1-4 回収結果	3
1-5 報告書の見方	3
II 調査結果のまとめ	5
2-1 現在の状況	7
2-1-1 職業（問10（1））	7
2-1-2 世帯人数（問5・問8）	7
2-1-3 世帯の分散状況（問9）	8
2-1-4 現在の居住自治体（問14（1）・問15（1）・ 問16（1）・問17（1））	8
2-1-5 現在の住居形態（問14（2）・問15（2）・ 問16（2）・問17（2））	9
2-2 将来の意向	10
2-2-1 帰還の意向（問12）	10
2-2-2 現在の檜葉町内での住居形態（問13（1））	11
2-2-3 今後の職業の意向：震災発生当時の職業が自営業・ 会社経営者以外の方（問11（1））	12
2-2-4 檜葉町に戻る時期（問14（4）・問15（3））	13
2-2-5 帰還後の住居（問14（6）・問15（5））	14
2-2-6 帰還後の家族構成（問14（5）・問15（4））	15
2-2-7 檜葉町内の今後の生活において必要だと感じていること （問13（2）・問14（7）） 帰還を判断する上で参考にする情報 （問15（6）・問17（3）） 戻らないと決めている理由（問16（3））	16
III 調査結果	19
3-1 回答者の属性	21
3-1-1 性別	21
3-1-2 年齢	21

3-2	東日本大震災発生当時の状況	22
3-2-1	震災発生当時の住まいの行政区	22
3-2-2	震災発生当時の世帯での立場	22
3-2-3	震災発生当時の世帯構成・人数	23
3-2-4	震災発生当時の住居形態	23
3-2-5	震災発生当時の持ち家の今後の予定	24
3-3	現在の状況	25
3-3-1	現在の世帯構成・人数	25
3-3-2	世帯の分散状況	25
3-3-3	現在の職業（就業形態）	26
3-3-4	現在の業種	27
3-3-5	今後の職業についての意向	28
3-3-6	檜葉町内で求職や就労する際の支障や希望する支援策	28
3-3-7	帰還の意向	29
3-3-8	檜葉町内での住居形態	31
3-3-9	檜葉町内での生活において更に必要だと感じていること	32
3-3-10	檜葉町内での生活において更に必要だと感じていること の具体的な考え	33
3-3-11	早期に檜葉町に戻る場合の現在の居住自治体	34
3-3-12	早期に檜葉町に戻る場合の現在の住居形態	34
3-3-13	早期に檜葉町に戻る場合の帰還するタイミング	35
3-3-14	早期に檜葉町に戻る場合の帰還時期	36
3-3-15	早期に檜葉町に戻る場合の帰還後の世帯構成・人数	37
3-3-16	早期に檜葉町に戻る場合の帰還後に予定している住居形態	37
3-3-17	早期に檜葉町に戻る場合に、檜葉町内での今後の生活に おいて必要だと感じていること	38
3-3-18	早期に檜葉町に戻る場合に、檜葉町内での今後の生活に おいて必要だと感じていることの具体的な考え	39
3-3-19	条件が整えば檜葉町に戻る場合の現在の居住自治体	40
3-3-20	条件が整えば檜葉町に戻る場合の現在の住居形態	40
3-3-21	条件が整えば檜葉町に戻る場合の帰還時期	41
3-3-22	条件が整えば檜葉町に戻る場合の帰還後の世帯構成・人数	42
3-3-23	条件が整えば檜葉町に戻る場合の帰還後に予定している 住居形態	43
3-3-24	条件が整えば檜葉町に戻る場合に、檜葉町に戻る条件 として考慮する項目	44
3-3-25	条件が整えば檜葉町に戻る場合に、檜葉町に戻る条件 として考慮する項目の具体的な考え	45
3-3-26	檜葉町に戻らない場合の現在の居住自治体	46
3-3-27	檜葉町に戻らない場合の現在の住居形態	46

3-3-28	檜葉町に戻らないと決めている理由	47
3-3-29	檜葉町に戻らない場合の今後の檜葉町との関係	47
3-3-30	檜葉町に戻らない場合に今後必要な支援	48
3-3-31	檜葉町に戻るか判断ができない場合の現在の居住自治体	48
3-3-32	檜葉町に戻るか判断ができない場合の現在の住居形態	49
3-3-33	檜葉町に戻るか判断ができない場合に、帰還を判断する 上で参考とする項目	49
3-3-34	檜葉町に戻っていない場合の平成30年4月以降の住まい	50
3-3-35	平成30年4月以降の住まいが決まっている場合の居住 自治体	51
3-3-36	平成30年4月以降の住まいが決まっている場合の 住居形態	51
3-3-37	平成30年4月以降の住まいが決まっていない場合の 住居の確保	52
3-3-38	平成30年4月以降の住まいが決まっていない場合の 居住自治体	52
3-3-39	平成30年4月以降の住まいが決まっていない場合の 希望する住居形態	53
3-4	意見・要望	54
3-4-1	意見に係る記入内容の分類結果	55
3-4-2	生活について	56
3-4-3	震災発生前の居住地について	57
3-4-4	帰還について	58
3-4-5	避難期間中及び将来の住宅について	60
3-4-6	除染について	61
3-4-7	復旧・復興について	62
3-4-8	その他	63
IV	参考資料	65
4-1	使用調査票	67

I 調査の概要

1-1 調査目的

本調査は、楡葉町民の現在の居住状況や今後の居住希望、今後の生活において必要だと感じていること、避難生活の現況及び意向等の基礎的情報収集等を目的とする。

1-2 調査内容

※4-1 使用調査票を参照のこと

1-3 調査設計

(1) 調査地域	楡葉町
(2) 調査対象と標本数	世帯の代表者 3,378 世帯
(3) 調査手法	郵送にて配布・回収（自記式）
(4) 調査期間	平成 29 年 10 月 2 日（月）～平成 29 年 10 月 16 日（月）
(5) 調査主体	復興庁、福島県、楡葉町
(6) 調査機関	株式会社サーベイリサーチセンター

1-4 回収結果

有効回収数 1,590 世帯（有効回収率 47.1%）

1-5 報告書の見方

- ・調査数（ $n = \text{Number of cases}$ ）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答の構成比は百分率であらわし、小数点第 2 位を四捨五入して算出している。従って、回答比率の合計が 100%にならない場合がある。
- ・回答者が 2 つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると 100%を超える。
- ・「その他」に内訳を記載している項目に関しては、個別の項目を合算して構成比を改めて算出している。従って、内訳の回答比率の合計が、グラフ記載の「その他」の回答比率と合致しない場合がある。
- ・図表および文章中で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ・調査数（ n 値）が少数（概ね 30 を下回る）のものは、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。

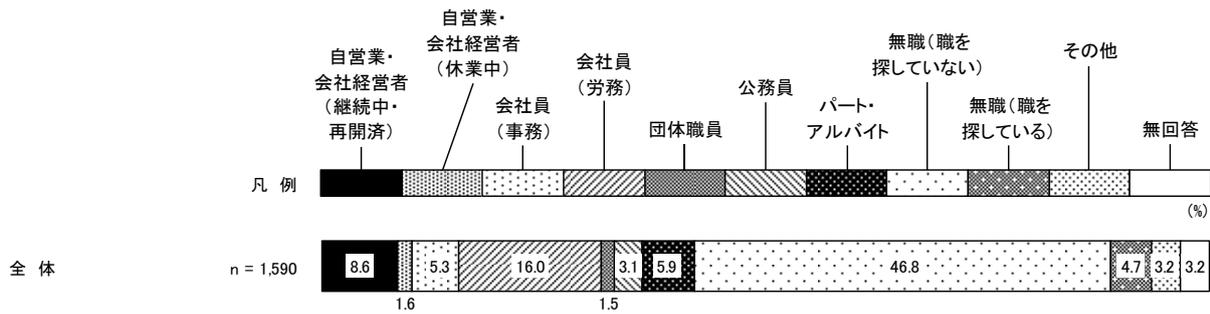
II 調査結果のまとめ

2-1 現在の状況

2-1-1 職業 (問10(1))

現在の職業については、「無職（職を探していない・職を探している）」以外では「会社員（労務）」が16.0%と最も高く、次いで「自営業・会社経営者（継続中・再開済）」が8.6%となっている。

<図表2-1-1 職業>

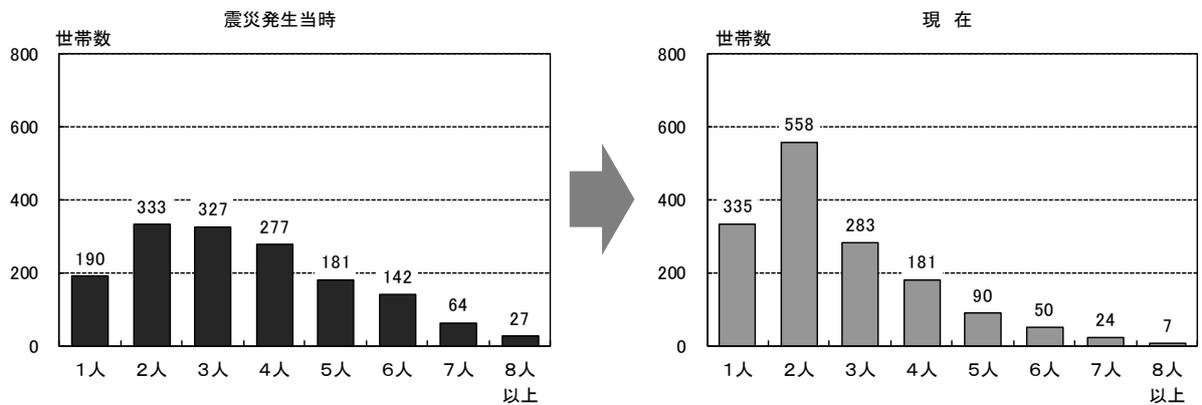


2-1-2 世帯人数 (問5・問8)

震災発生当時の世帯人数については、「2人」が333世帯、「3人」が327世帯となっており、次いで「4人」が277世帯となっている。

現在の世帯人数については、「2人」が558世帯と最も多く、次いで「1人」が335世帯、「3人」が283世帯となっている。

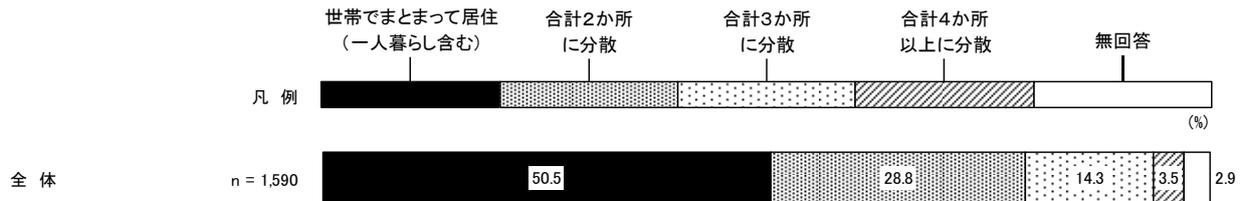
<図表2-1-2 世帯人数>



2-1-3 世帯の分散状況 (問9)

現在の世帯の分散状況については、「世帯でまとまって居住（一人暮らし含む）」(50.5%)が最も高いが、「合計2か所に分散」(28.8%)、「合計3か所に分散」(14.3%)、「合計4か所以上に分散」(3.5%)をあわせると、分散している世帯は4割台半ばとなっている(46.6%)。

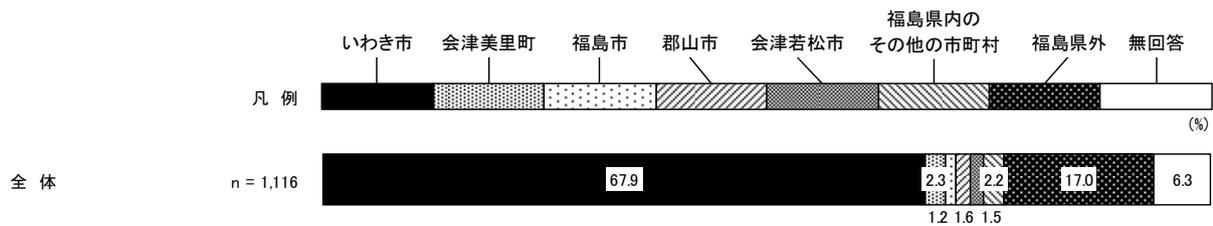
<図表2-1-3 世帯の分散状況>



2-1-4 現在の居住自治体 (問14(1)・問15(1)・問16(1)・問17(1))

現在の居住自治体については、「いわき市」が67.9%と最も高く、次いで「福島県外」が17.0%となっている。

<図表2-1-4 現在の居住自治体>

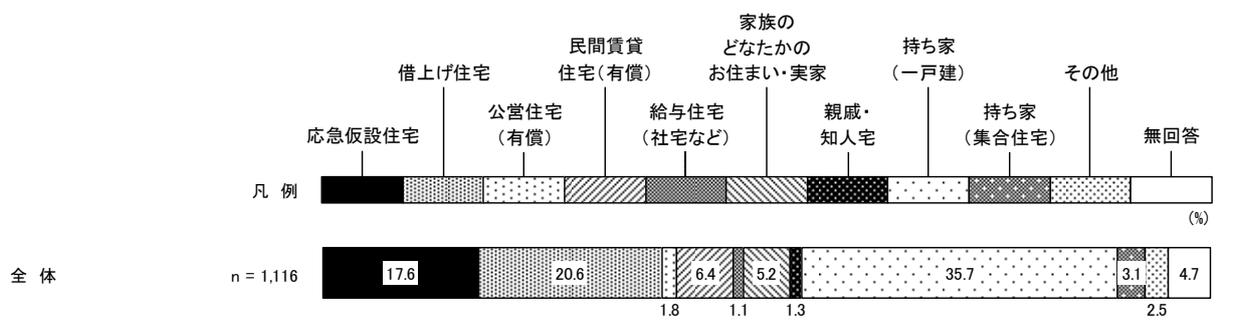


※問12で「早期に楢葉町に戻る」「条件が整えば、楢葉町に戻る」「楢葉町に戻らない(他市町村での自主再建の方も含む)」「戻るかどうかについて、今はまだ判断ができない」と回答した方のみ
 ※問14(1)、問15(1)、問16(1)、問17(1)を合算して算出

2-1-5 現在の住居形態（問 14（2）・問 15（2）・問 16（2）・問 17（2））

現在の住居形態については、「持ち家（一戸建）」が 35.7%と最も高く、次いで「借上げ住宅」が 20.6%、「応急仮設住宅」が 17.6%となっている。

<図表 2-1-5 現在の住居形態>



※問 12 で「早期に榑葉町に戻る」「条件が整えば、榑葉町に戻る」「榑葉町に戻らない（他市町村での自主再建の方も含む）」「戻るかどうかについて、今はまだ判断ができない」と回答した方のみ
 ※問 14（2）、問 15（2）、問 16（2）、問 17（2）を合算して算出

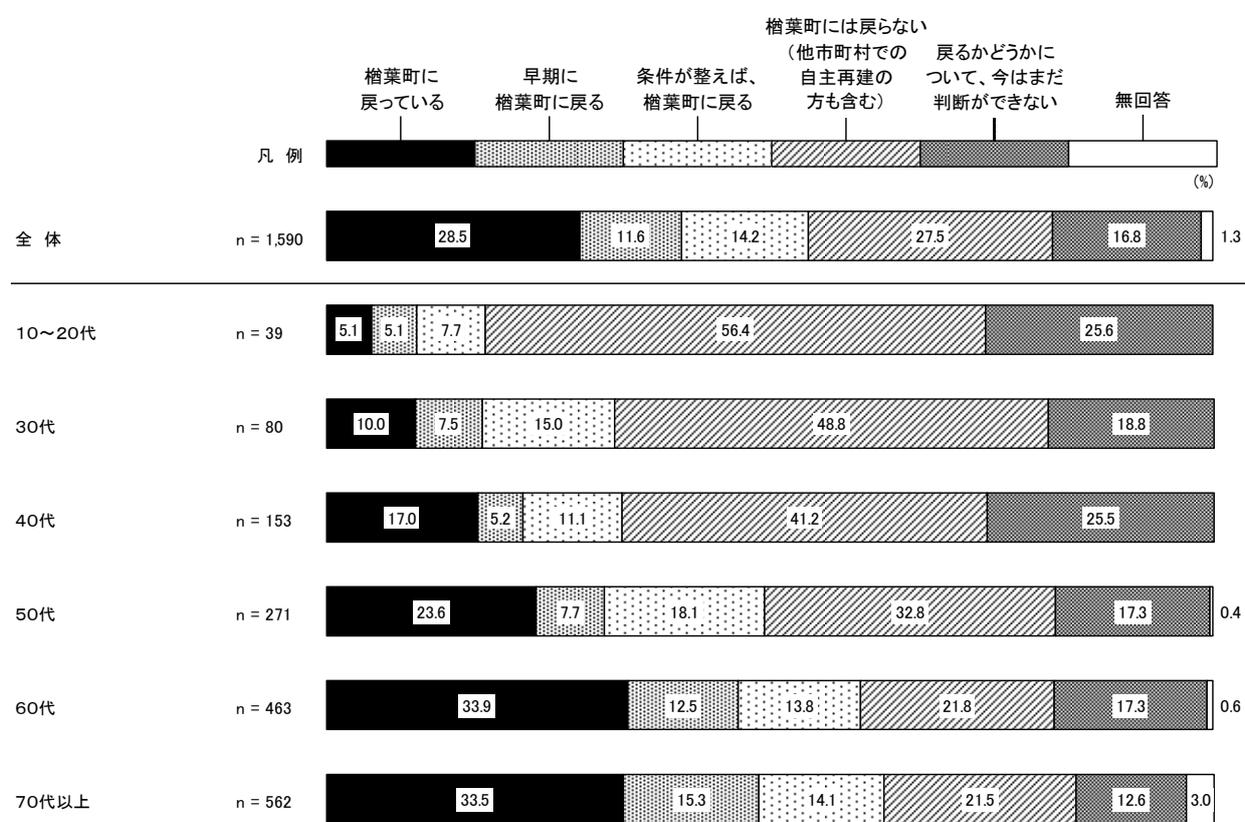
2-2 将来の意向

2-2-1 帰還の意向（問12）

帰還の意向については、「檜葉町に戻っている」（28.5%）、「早期に檜葉町に戻る」（11.6%）、「条件が整えば、檜葉町に戻る」（14.2%）をあわせると、5割台半ばの方（54.3%）が「戻っている」、「戻る」と回答している。

回答者の年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「戻っている」、「戻る」と回答した方の割合が高くなり、年齢が低くなるにつれて「檜葉町には戻らない（他市町村での自主再建の方も含む）」と回答した方の割合が高くなっている。

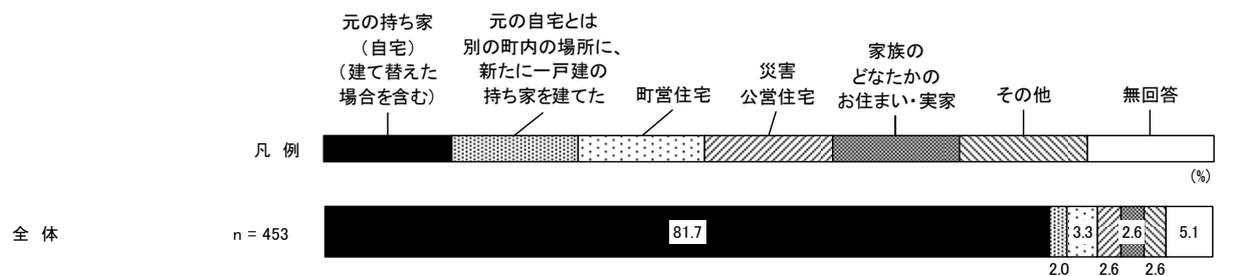
<図表2-2-1 帰還の意向（年齢別）>



2-2-2 現在の榿葉町内での住居形態（問 13（1））

現在の榿葉町内での住居形態については、「元の持ち家（自宅）（建て替えた場合を含む）」が8割以上となっている（81.7%）。

<図表2-2-2 現在の榿葉町内での住居形態>



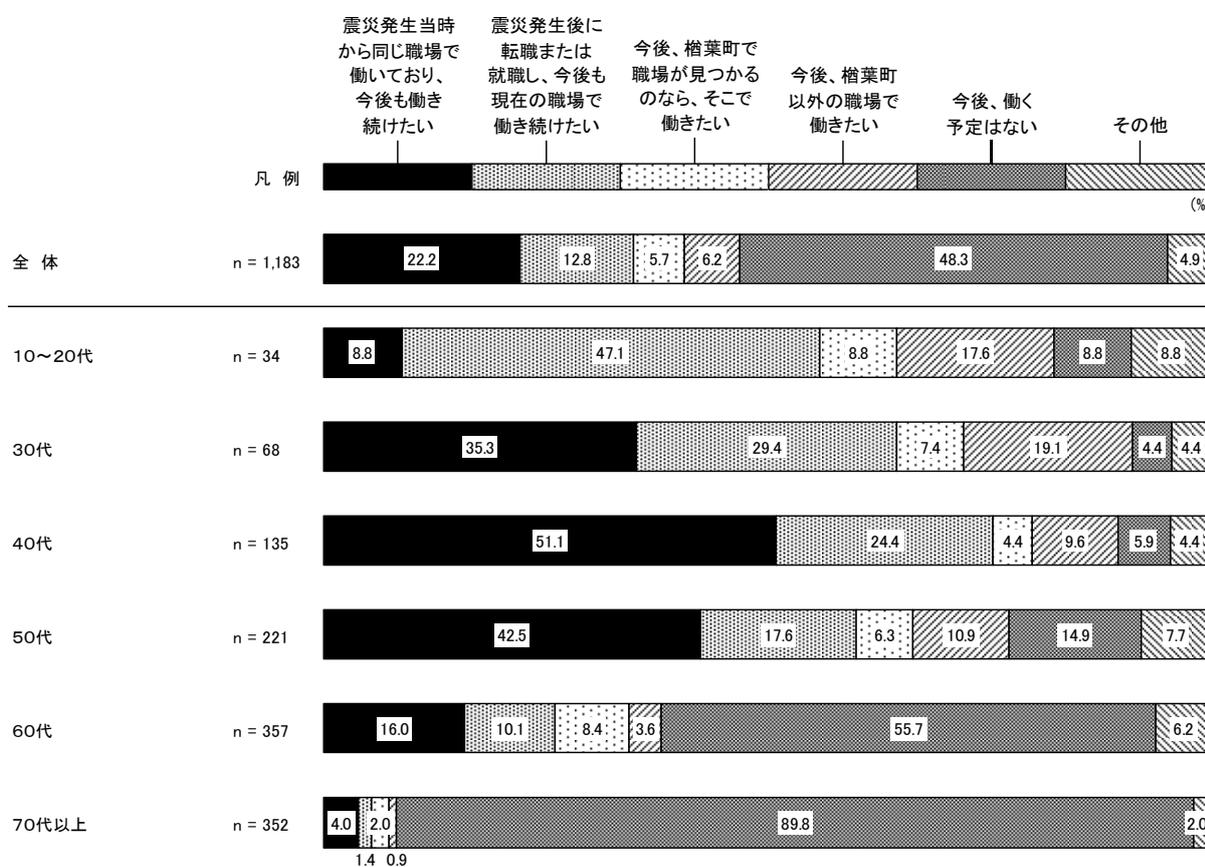
※問 12 で「榿葉町に戻っている」と回答した方のみ

2-2-3 今後の職業の意向：震災発生当時の職業が自営業・会社経営者以外の方
(問 11 (1))

震災発生当時の職業が自営業・会社経営者以外の方の今後の職業の意向については、「今後、働く予定はない」が48.3%と最も高く、次いで「震災発生当時から同じ職場で働いており、今後も働き続けたい」が22.2%、「震災発生後に転職または就職し、今後も現在の職場で働き続けたい」が12.8%となっている。

回答者の年齢別にみると、30代、40代、50代は「震災発生当時から同じ職場で働いており、今後も働き続けたい」が最も高くなっているが、10~20代は「震災発生後に転職または就職し、今後も現在の職場で働き続けたい」が最も高くなっている。

<図表2-2-3 今後の職業の意向（年齢別）>



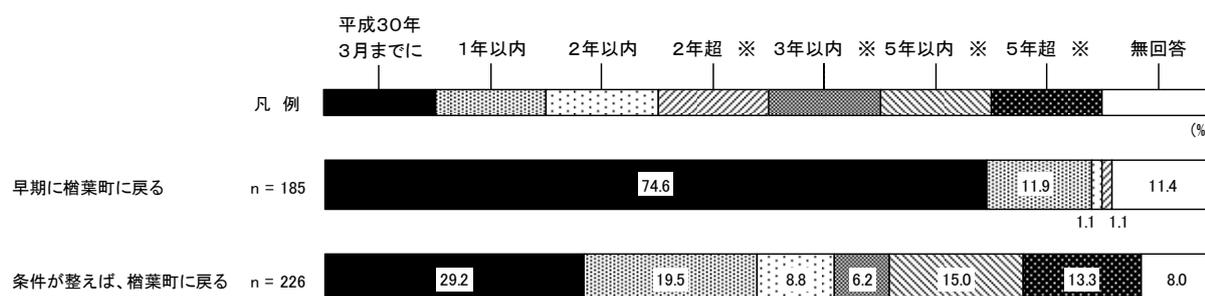
※震災発生当時の職業が自営業・会社経営者以外の方のみ

2-2-4 檜葉町に戻る時期（問 14（4）・問 15（3））

檜葉町に戻る時期について帰還の意向別にみると、早期に檜葉町に戻る方は「平成 30 年 3 月までに」（74.6%）、「1 年以内」（11.9%）をあわせると、1 年以内に帰ると回答した方は 8 割以上となっている（86.5%）。

条件が整えば、檜葉町に戻る方は、「平成 30 年 3 月までに」が 29.2%と最も高く、次いで「1 年以内」が 19.5%となっている。

<図表 2-2-4 檜葉町に戻る時期（帰還の意向別）>



※問 12 で「早期に檜葉町に戻る」または「条件が整えば、檜葉町に戻る」と回答した方のみ

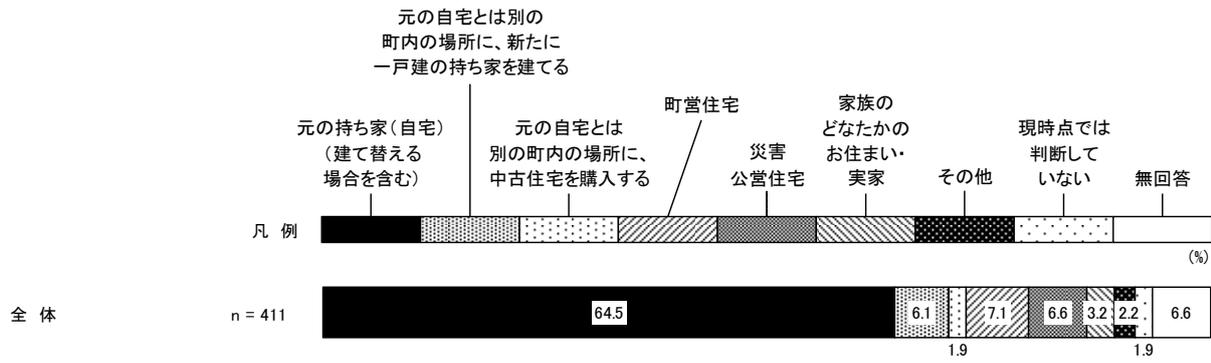
※「2年超」は「早期に檜葉町に戻る」のみが回答可能な選択肢

※「3年以内」「5年以内」「5年超」は「条件が整えば、檜葉町に戻る」のみが回答可能な選択肢

2-2-5 帰還後の住居（問 14（6）・問 15（5））

帰還後の住居については、「元の持ち家（自宅）（建て替える場合を含む）」が6割以上となっている（64.5%）。

<図表 2-2-5 帰還後の住居>



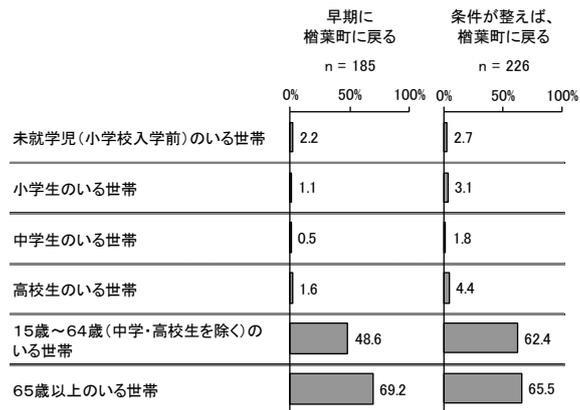
※問 12 で「早期に榿葉町に戻る」「条件が整えば、榿葉町に戻る」と回答した方のみ
 ※問 14（6）・問 15（5）を合算して算出

2-2-6 帰還後の家族構成（問 14（5）・問 15（4））

帰還後の家族構成について帰還の意向別にみると、早期に檜葉町に戻る方は「65歳以上のいる世帯」が69.2%と最も高く、次いで「15歳～64歳（中学・高校生を除く）のいる世帯」が48.6%となっている。

条件が整えば、檜葉町に戻る方は「65歳以上のいる世帯」（65.5%）、「15歳～64歳（中学・高校生を除く）のいる世帯」（62.4%）がともに6割以上と最も多くなっている。

<図表2-2-6 帰還後の家族構成（帰還の意向別）>



※問 12 で「早期に檜葉町に戻る」「条件が整えば、檜葉町に戻る」と回答した方のみ

2-2-7 榑葉町内の今後の生活において必要だと感じていること

(問 13 (2)・問 14 (7))

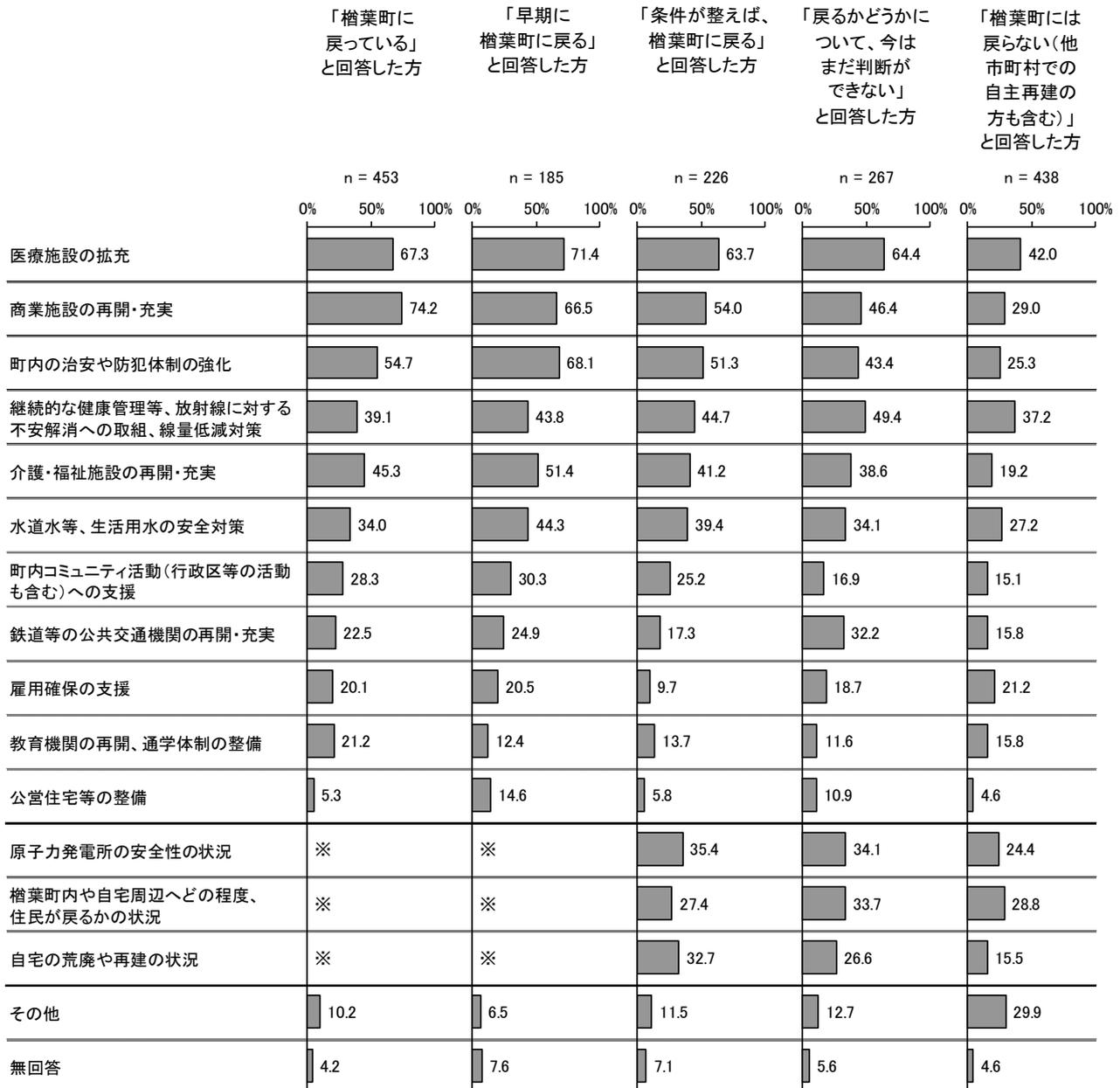
帰還を判断する上で参考にする情報 (問 15 (6)・問 17 (3))

戻らないと決めている理由 (問 16 (3))

榑葉町内の今後の生活において必要だと感じていること／帰還を判断する上で参考にする情報／戻らないと決めている理由について帰還の意向別にみると、榑葉町に戻っている・早期に榑葉町に戻る・条件が整えば、榑葉町に戻る方は、「医療施設の拡充」「商業施設の再開・充実」「町内の治安や防犯体制の強化」がいずれも5割以上となっている。

戻るかどうかについて、今はまだ判断ができない・榑葉町には戻らない(他市町村での自主再建の方も含む)方は、「医療施設の拡充」が最も高く、次いで「継続的な健康管理等、放射線に対する不安解消への取組、線量低減対策」となっている。

＜図表2-2-7 檜葉町内の今後の生活において必要だと感じていること／
帰還を判断する上で参考にする情報／戻らないと決めている理由（帰還の意向別）＞



※問 12 で「檜葉町に戻っている」と回答した方には、「檜葉町内での生活において、更に必要だと感じていること」として設問

※問 12 で「早期に檜葉町に戻る」と回答した方には、「檜葉町内での今後の生活において、必要だと感じていること」として設問

※問 12 で「条件が整えば、檜葉町に戻る」と回答した方には、「檜葉町に戻るにあたり、条件として考慮する項目」として設問

※問 12 で「戻るかどうかについて、今はまだ判断ができない」と回答した方には、「檜葉町に戻るかどうかの判断をする際に、参考にする項目」として設問

※問 12 で「檜葉町には戻らない(他市町村での自主再建の方も含む)」と回答した方には、「戻らないと決めている理由」として設問

※問 12 で「檜葉町に戻っている」「早期に檜葉町に戻る」と回答した方は、「原子力発電所の安全性の状況」「檜葉町内や自宅周辺への程度、住民が戻るかの状況」「自宅の荒廃や再建の状況」の3項目については聴取していない

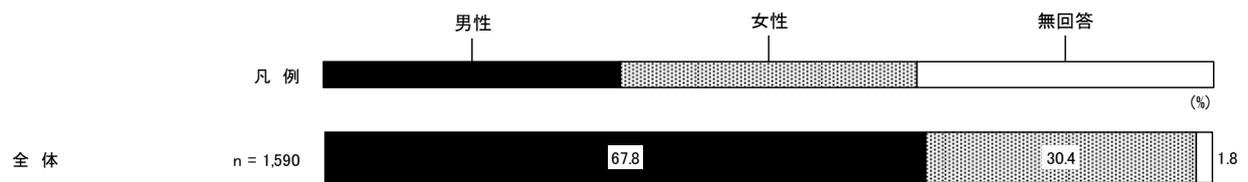
III 調査結果

3-1 回答者の属性

3-1-1 性別

問1 性別（〇は1つ）

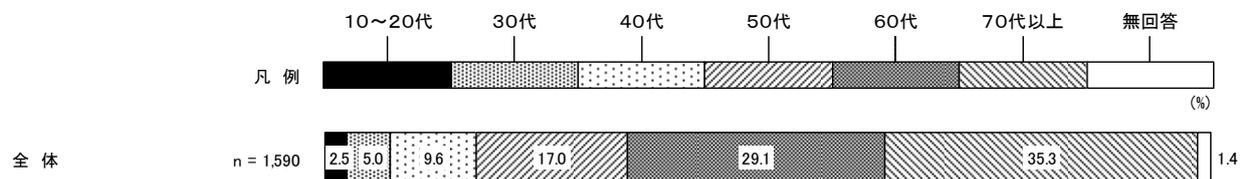
<図表3-1-1 性別>



3-1-2 年齢

問2 あなたの現在の年齢（〇は1つ）

<図表3-1-2 年齢>

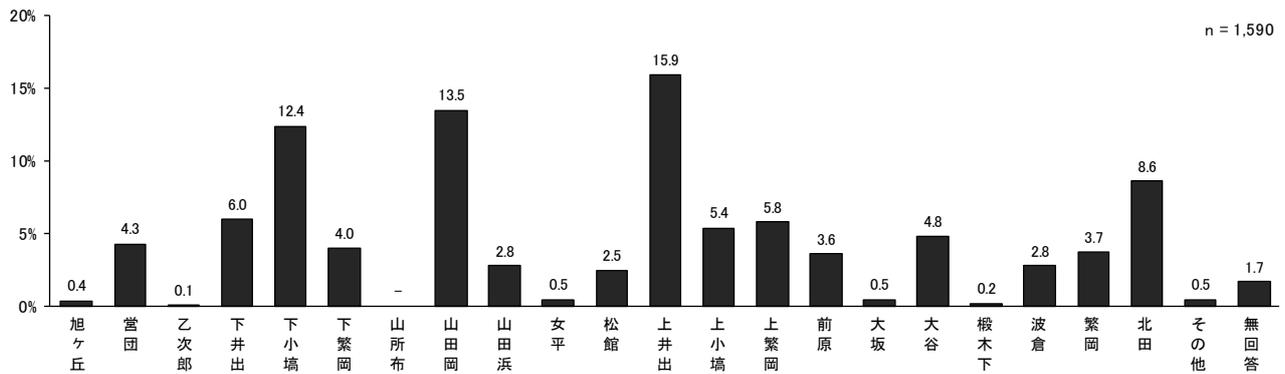


3-2 東日本大震災発生当時の状況

3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区

問3 震災発生当時にお住まいだった地区を以下から教えてください。(〇は1つ)

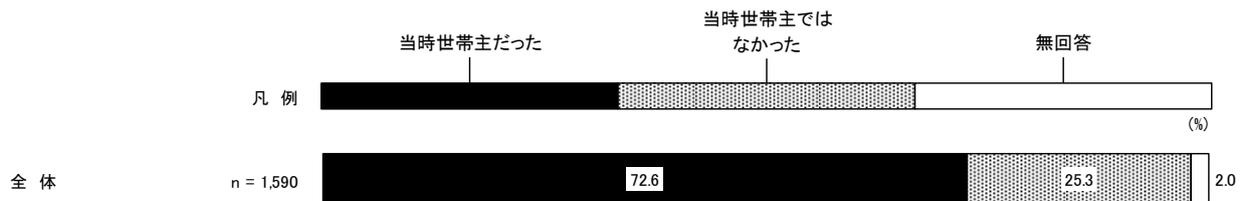
<図表3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区>



3-2-2 震災発生当時の世帯での立場

問4 あなたは、震災発生当時、世帯主でしたか。(〇は1つ)

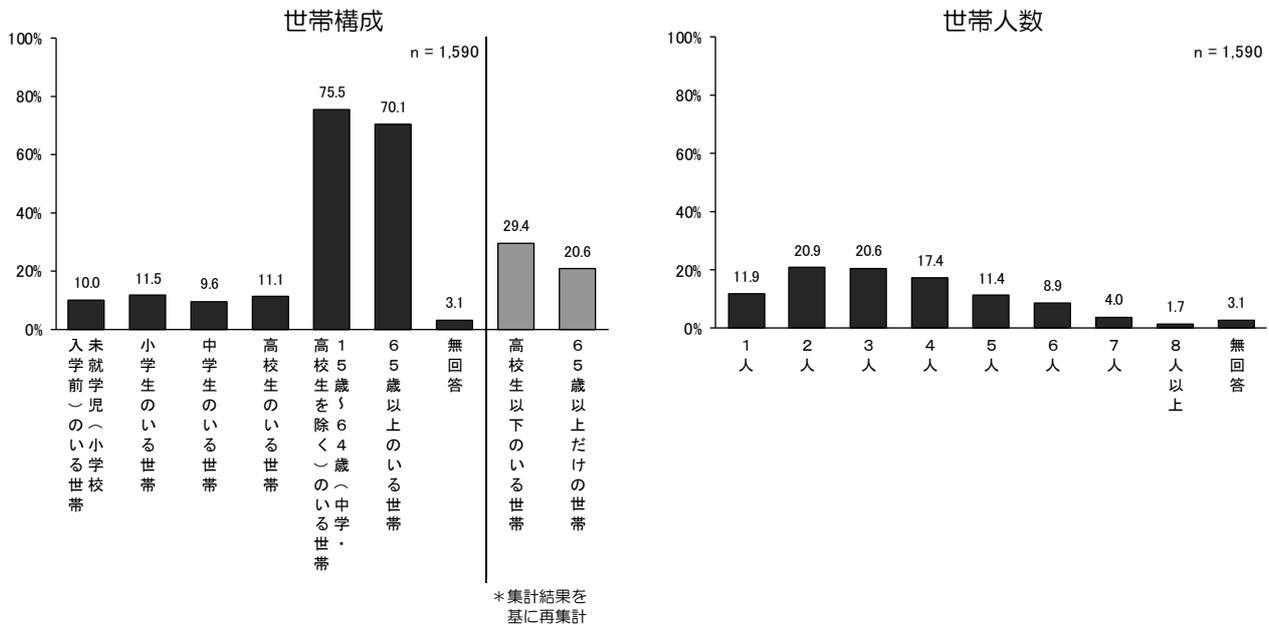
<図表3-2-2 震災発生当時の世帯での立場>



3-2-3 震災発生当時の世帯構成・人数

問5 「震災発生当時」に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。
あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

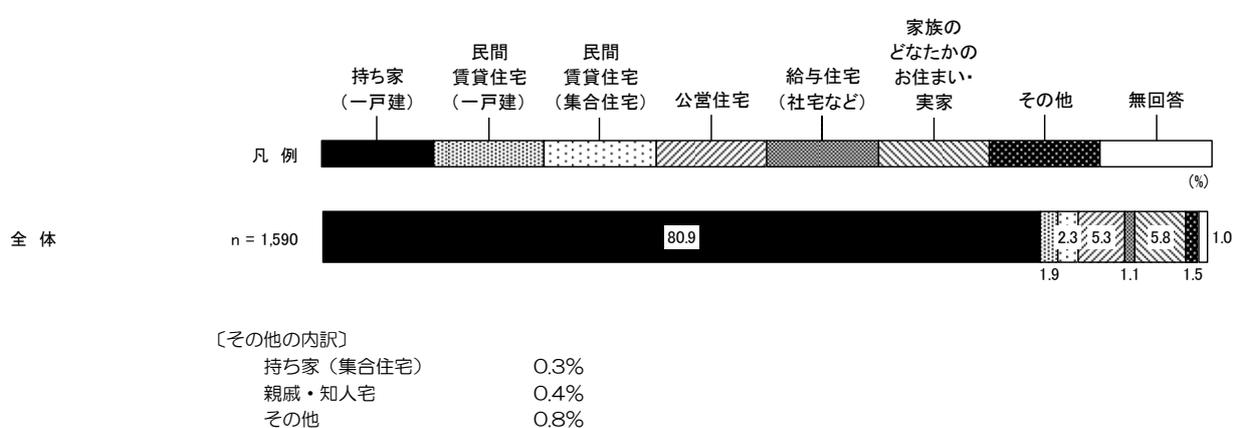
<図表3-2-3 震災発生当時の世帯構成・人数>



3-2-4 震災発生当時の住居形態

問6 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。(○は1つ)

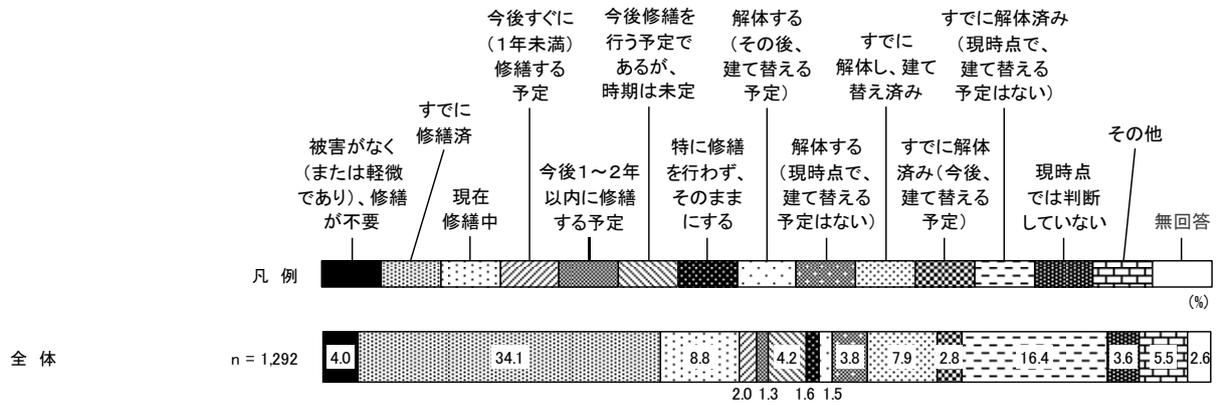
<図表3-2-4 震災発生当時の住居形態>



3-2-5 震災発生当時の持ち家の今後の予定

【問6で、「1. 持ち家（一戸建）」または「2. 持ち家（集合住宅）」と回答した方にうかがいます。】
 問7 震災発生当時にお住まいだった持ち家（自宅）は、今後どのようにされる予定ですか。（〇は1つ）

<図表3-2-5 震災発生当時の持ち家の今後の予定>

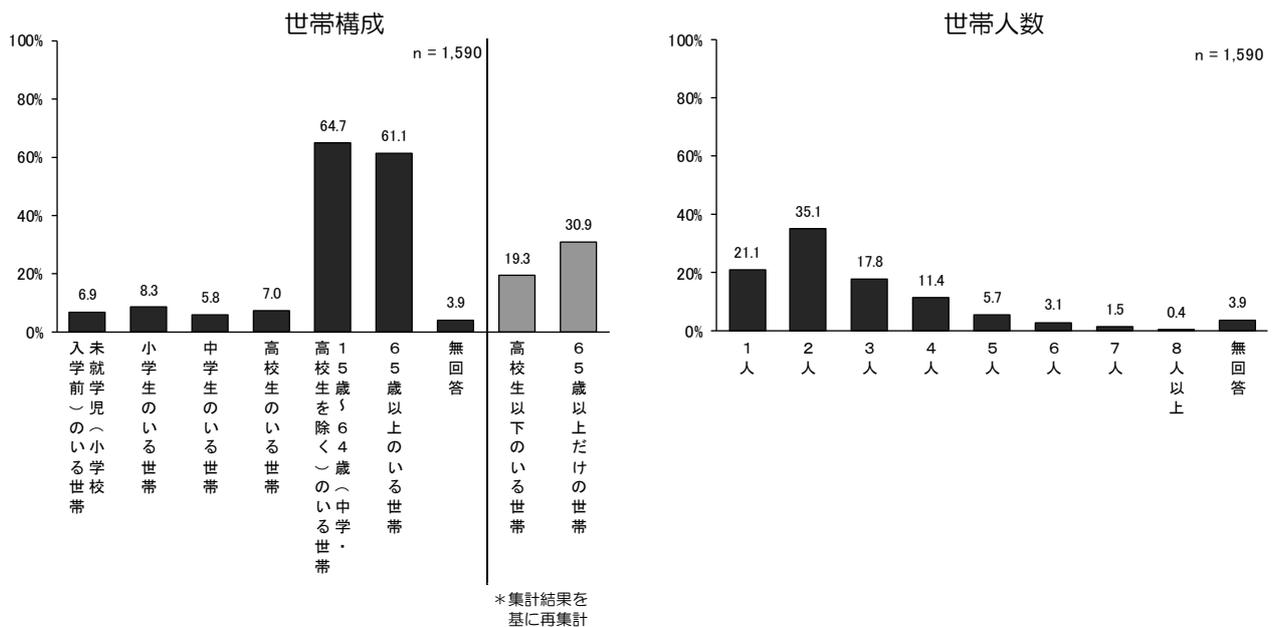


3-3 現在の状況

3-3-1 現在の世帯構成・人数

問8 現在の世帯構成についてうかがいます。現在、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。あなたご自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

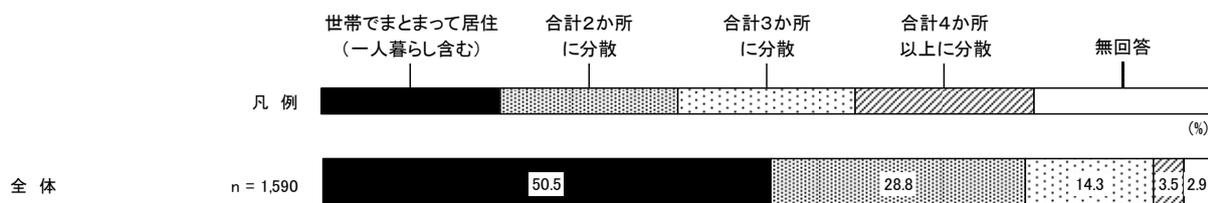
<図表3-3-1 現在の世帯構成・人数>



3-3-2 世帯の分散状況

問9 震災発生当時ご一緒にお住まいであった家族は、現在、何か所に分散してお住まいですか。(〇は1つ)

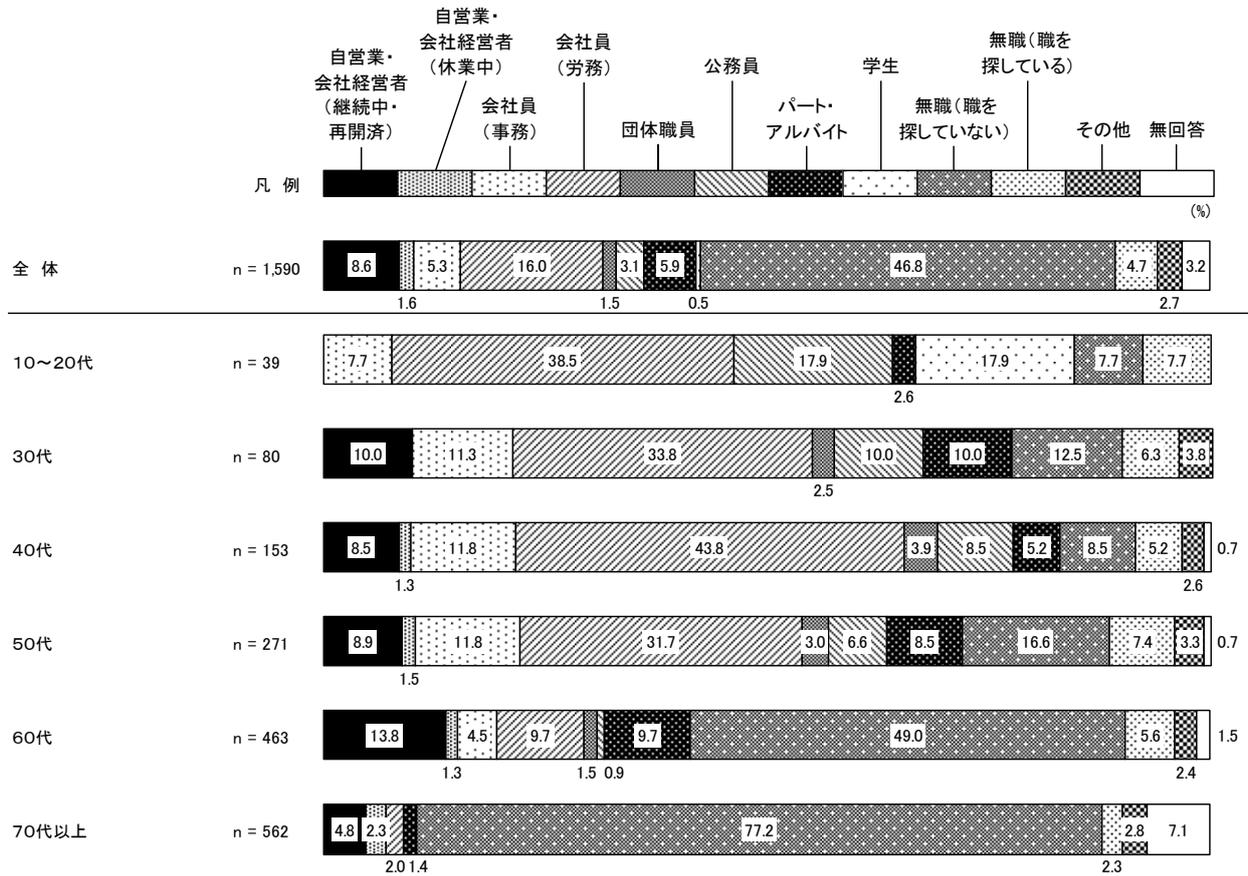
<図表3-3-2 世帯の分散状況>



3-3-3 現在の職業（就業形態）

問 10 現在のあなたの職業を教えてください。現在、仕事に就いている方は、業種も教えてください。
 なお、2つ以上の職業を持っている場合には、主な収入源になっているものを選択してください。
 (1) 職業（就業形態）（○は1つ）

<図表3-3-3 現在の職業（就業形態）（年齢別）>

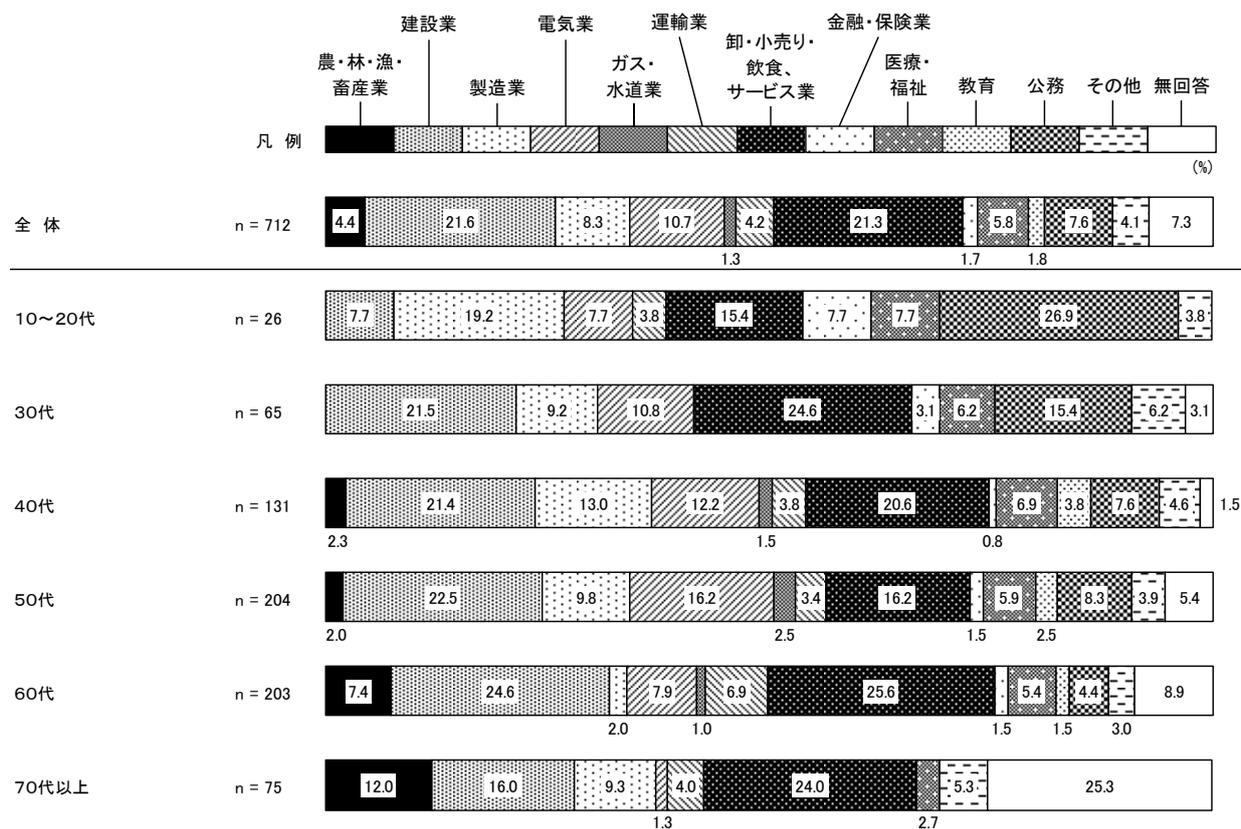


3-3-4 現在の業種

【就業している方にかがいます。】

問 10 現在のあなたの職業を教えてください。現在、仕事に就いている方は、業種も教えてください。
 なお、2つ以上の職業を持っている場合には、主な収入源になっているものを選択してください。
 (2) 業種 (〇は1つ)

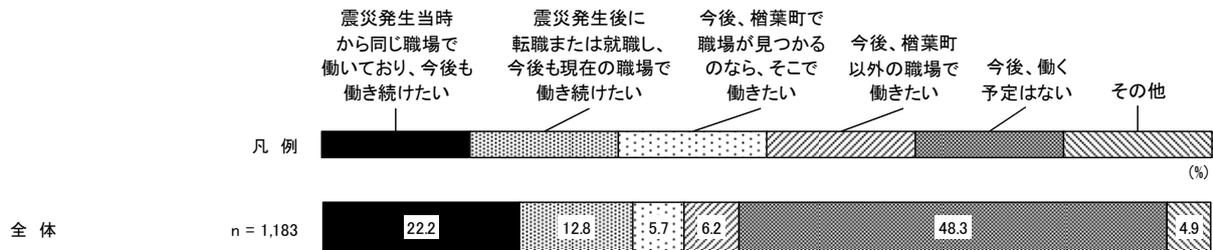
<図表3-3-4 現在の業種(年齢別)>



3-3-5 今後の職業についての意向

【問 11 は、震災発生当時の職業が自営業・会社経営者以外（会社員、団体職員、公務員、パート・アルバイト、学生、無職、その他）の方がご回答ください。】
 問 11 (1) 今後の職業について、どのようにお考えですか。（〇は1つ）

＜図表 3-3-5 今後の職業についての意向＞



3-3-6 榑葉町内で求職や就労する際の支障や希望する支援策

【問 11 (1) で、「3. 今後、榑葉町で職場が見つかるのなら、そこで働きたい」と回答した方にうかがいます。】
 問 11 (2) 今後、町内で職場を探し、仕事をする上で何か支障となること、支援策として事業者や行政に望むことがありましたら、自由なお考えをご回答ください。

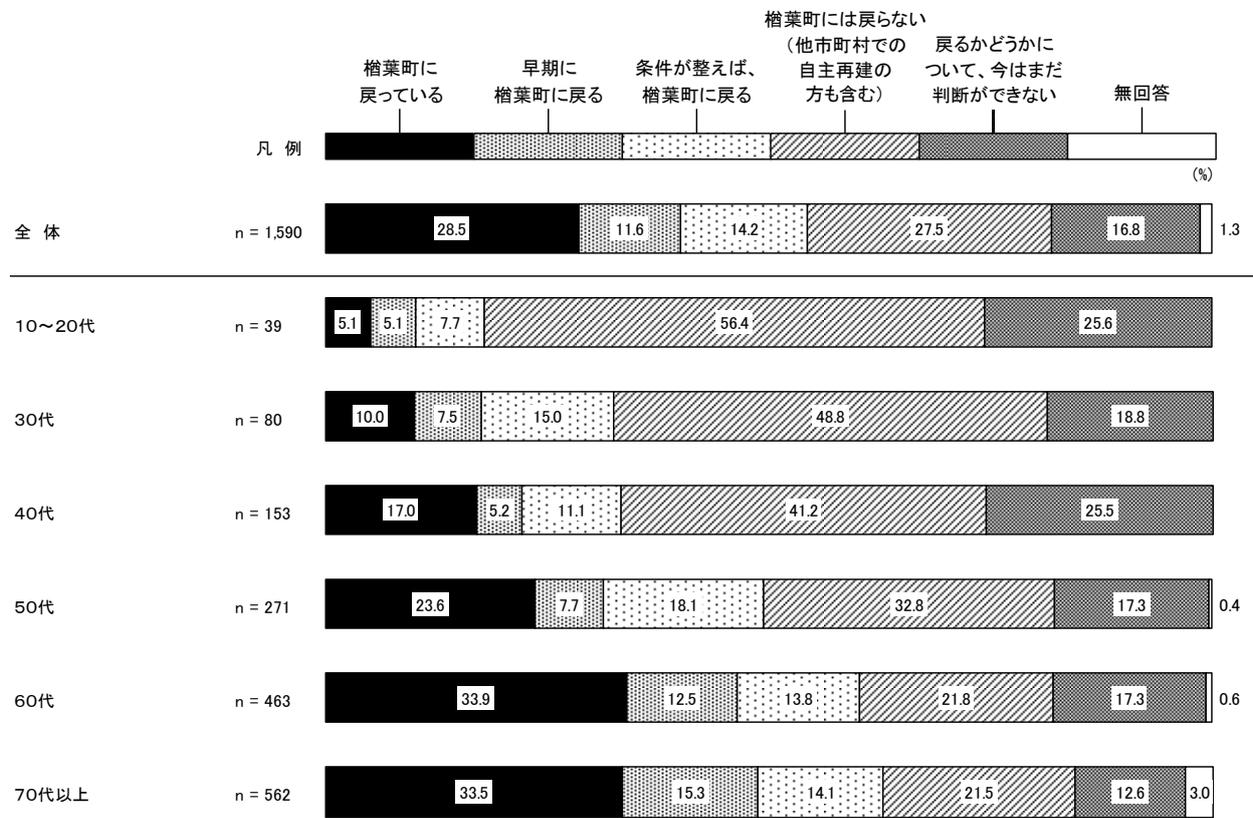
＜榑葉町内で求職や就労する際の支障や希望する支援策について、代表的な意見＞

- ・現在の仕事をやめると収入が減る。住む場所の確保が心配。(40代)
- ・町内で働く事で不便がないように、スーパーなどを増やして欲しい。町内の安全を考えて見守りを強化して欲しい。(40代)
- ・公営住宅の整備。(50代)
- ・ライフラインの整備と充実。(50代)
- ・障害者も働ける職場。(50代)
- ・年齢を重ねても、簡単なアルバイトがあったらいいなと思っています。(60代)
- ・社宅等の設備を支援してほしい。(60代)

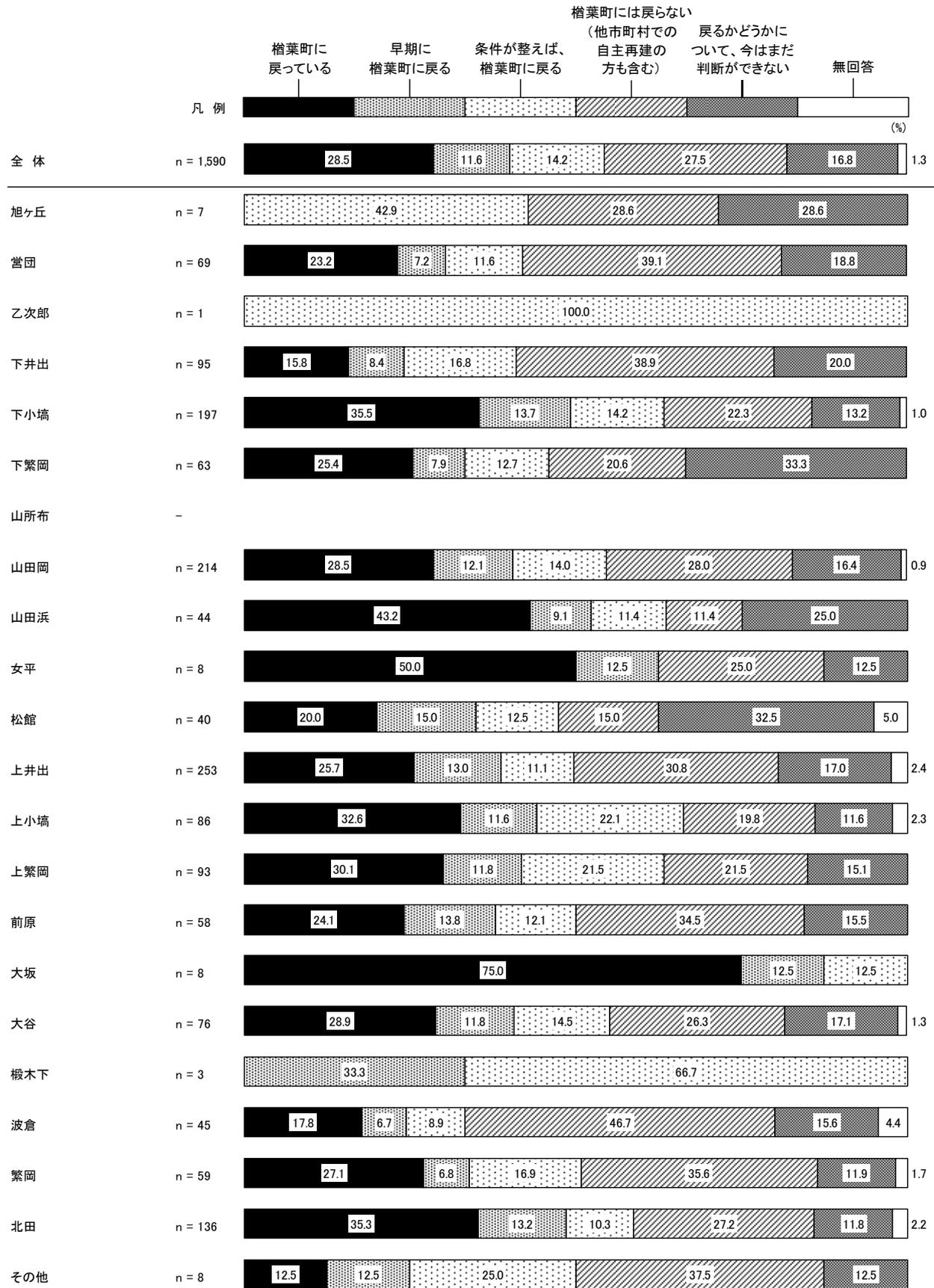
3-3-7 帰還の意向

問 12 現状及びこれからの住まいについてお答えください。(〇は1つ)

<図表3-3-7-1 帰還の意向(年齢別)>



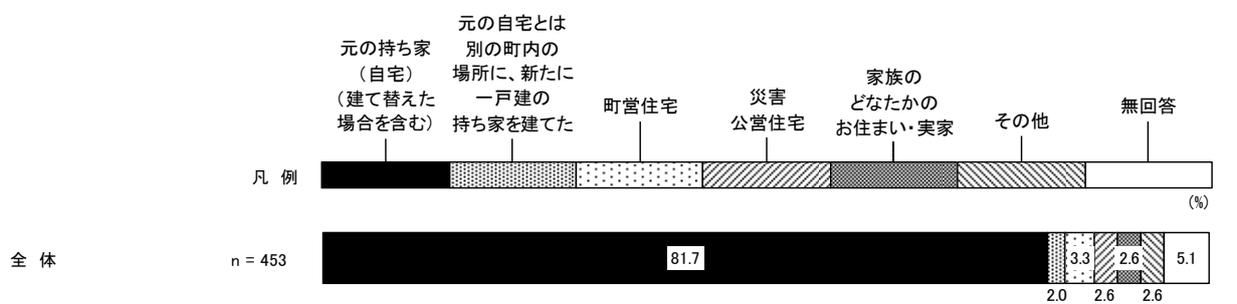
<図表3-3-7-2 帰還の意向（震災発生当時の住まいの行政区別）>



3-3-8 榑葉町内での住居形態

【問 13 は、問 12 で、「1. 榑葉町に戻っている」と回答した方にうかがいます。
 問 13 (1) 現在、榑葉町内でお住まいの住宅は、どのような形態ですか。(〇は1つ)

＜図表3-3-8 榑葉町内での住居形態＞



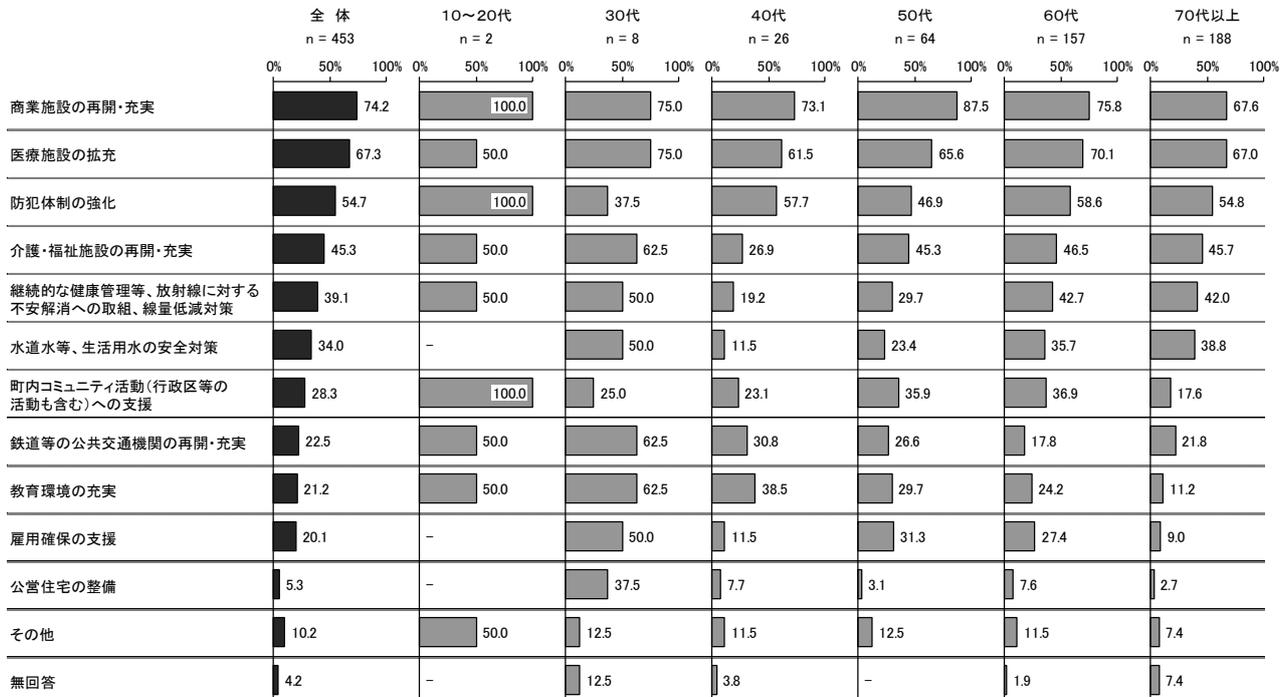
〔その他の内訳〕

元の自宅とは別の町内の場所に、中古住宅を購入した	0.4%
民間賃貸住宅 (一戸建)	-
民間賃貸住宅 (集合住宅)	0.2%
給与住宅 (社宅など)	0.2%
親戚・知人宅	0.2%
その他	1.5%

3-3-9 榑葉町内での生活において更に必要だと感じていること

【問 13 は、問 12 で、「1. 榑葉町に戻っている」と回答した方にうかがいます。
 問 13 (2) 榑葉町内での生活において、更に必要だと感じていることについてお答えください。(〇はいくつでも)

<図表3-3-9 榑葉町内での生活において更に必要だと感じていること(年齢別)>



3-3-10 檜葉町内での生活において更に必要だと感じていることの具体的な考え

問 13 (3) 問 13 (2) で選択した「更に必要だと感じていること」のうちで、具体的な考えがあれば、選択肢番号を下記の欄にご記入の上、自由なお考えをご回答ください。

<檜葉町内での生活において更に必要だと感じていることの具体的な考えの上位項目の主な意見>

[商業施設の再開・充実]

- 衣類や子供用品が売っているお店が近くにほしい。(10～20代)
- スーパー等の誘致。(50代)
- 飲食店が少ない。安くてメニューも豊富なレストランを誘致して欲しい。(60代)
- 生鮮食品が町内で購入できる様になってほしい(種類の拡充)。(60代)

[医療施設の拡充]

- 小さい子供がいる為、夜間でも診察してくれる病院が欲しい。(30代)
- 診察時間の延長。(40代)
- 整形外科にリハビリできる施設。(60代)
- 総合病院の誘致(診療科目の充実、高度医療施設、緊急体制の充実)。(70代以上)

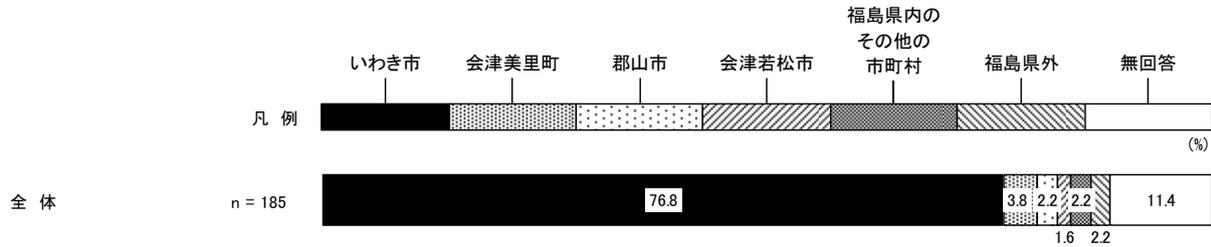
[防犯体制の強化]

- 家の周りが暗い。街灯の設置。(60代)
- 町内各事業所や公共施設への、定期的あるいは不定期に警察官の立ち寄りをお願いしたい。(60代)
- 現在の防犯パトロールを続けてほしい。(60代)
- ゴミステーションの整理と監視の徹底。(70代以上)
- 防犯カメラの設置。(70代以上)

3-3-11 早期に楡葉町に戻る場合の現在の居住自治体

【問 14 は、問 12 で、「2. 早期に楡葉町に戻る」と回答した方にうかがいます。】
 問 14 (1) あなたが現在お住まいの自治体名を教えてください。(〇は1つ)

<図表3-3-11 早期に楡葉町に戻る場合の現在の居住自治体>

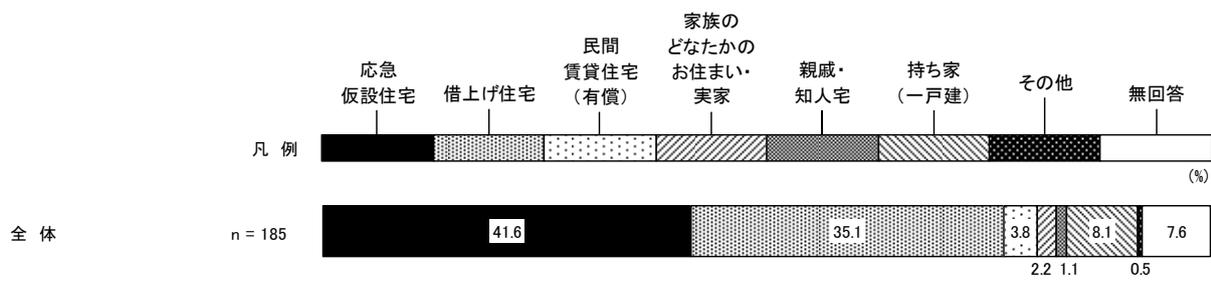


〔その他の内訳〕
 福島市 0.5%
 福島県内のその他の市町村 1.6%

3-3-12 早期に楡葉町に戻る場合の現在の住居形態

【問 14 は、問 12 で、「2. 早期に楡葉町に戻る」と回答した方にうかがいます。】
 問 14 (2) 現在お住まいの住居は、どのような住居形態ですか。(〇は1つ)

<図表3-3-12 早期に楡葉町に戻る場合の現在の住居形態>

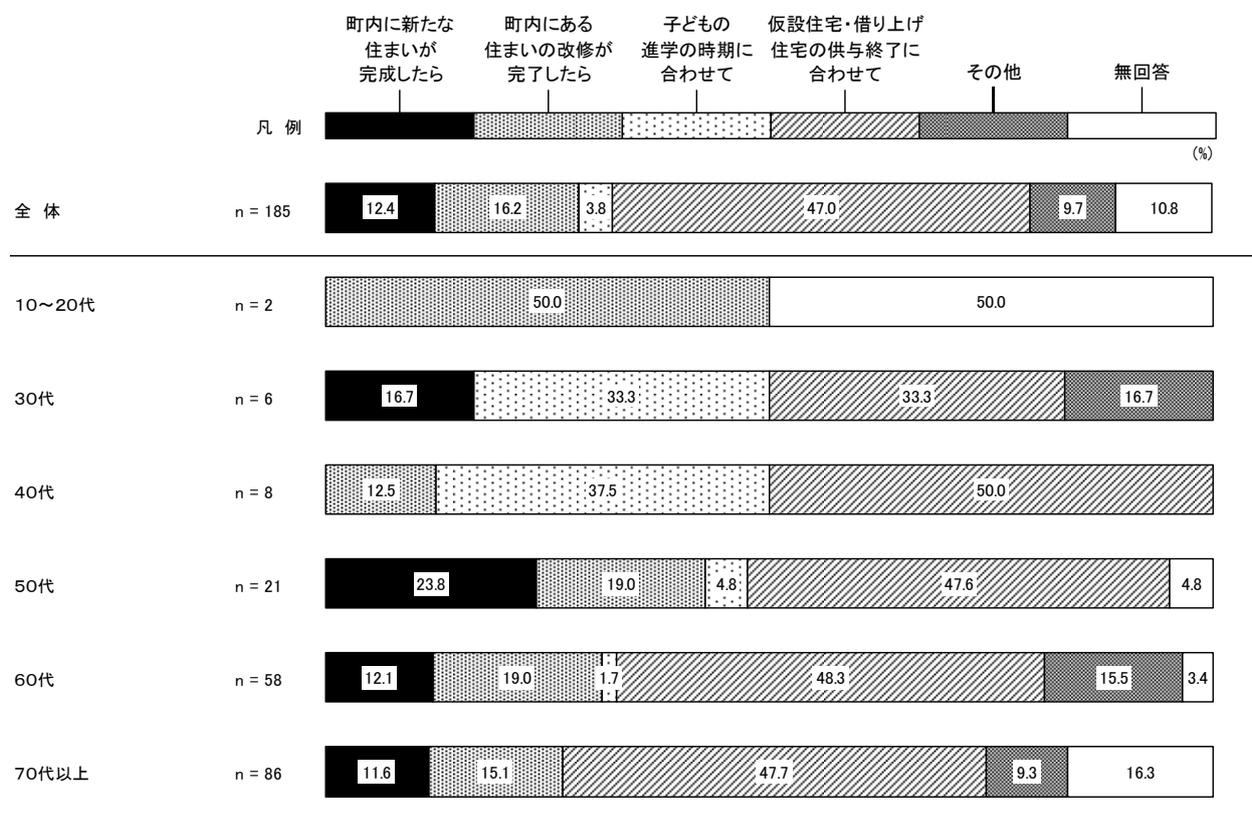


〔その他の内訳〕
 公営住宅(有償) -
 給与住宅(社宅など) -
 持ち家(集合住宅) 0.5%
 その他 -

3-3-13 早期に榑葉町に戻る場合の帰還するタイミング

【問 14 は、問 12 で、「2. 早期に榑葉町に戻る」と回答した方にうかがいます。
 問 14 (3) 榑葉町に戻るタイミングはいつですか。(〇は1つ)

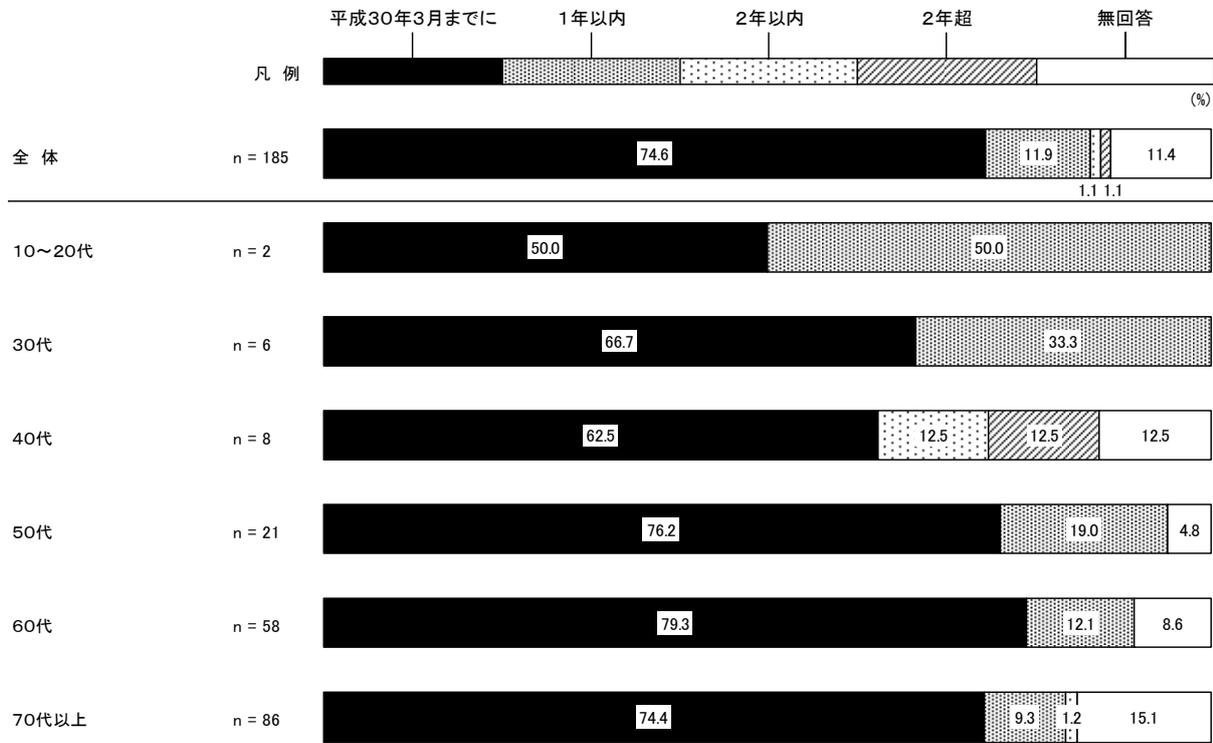
<図表3-3-13 早期に榑葉町に戻る場合の帰還するタイミング（年齢別）>



3-3-14 早期に榑葉町に戻る場合の帰還時期

【問 14 は、問 12 で、「2 早期に榑葉町に戻る」と回答した方にうかがいます。
 問 14 (4) 榑葉町に戻る時期について、現在のお考えをお聞かせください。(〇は1つ)

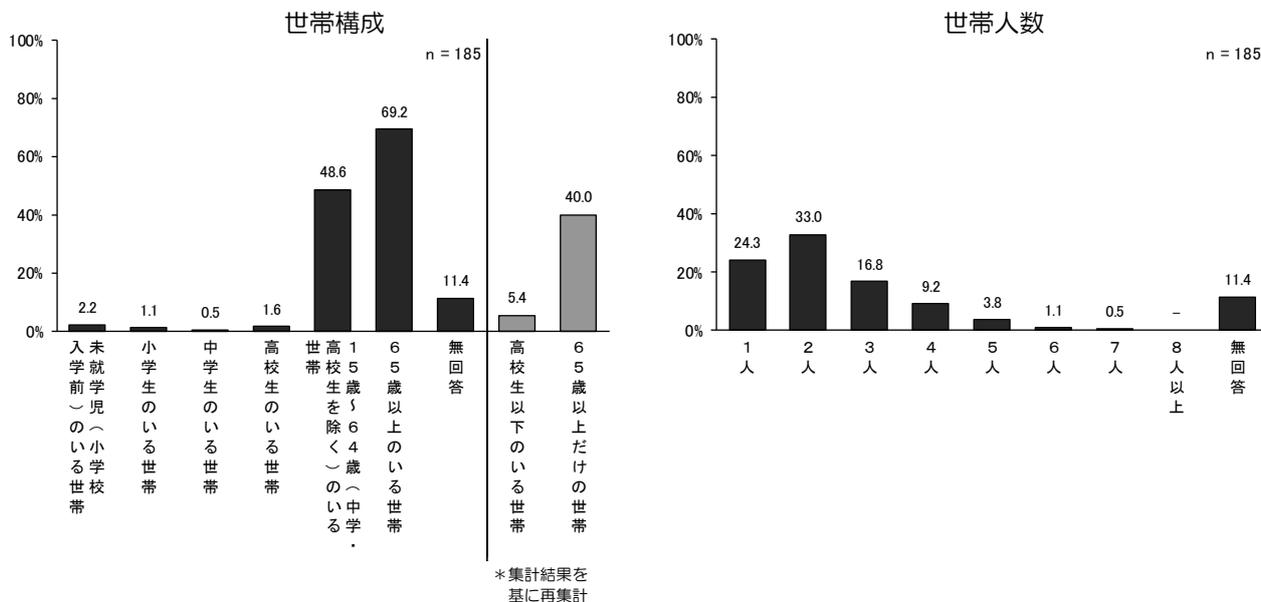
<図表 3-3-14 早期に榑葉町に戻る場合の帰還時期(年齢別)>



3-3-15 早期に榑葉町に戻る場合の帰還後の世帯構成・人数

【問 14 は、問 12 で、「2. 早期に榑葉町に戻る」と回答した方にうかがいます。】
 問 14 (5) 榑葉町への帰還後、どのような家族構成になると考えていますか。
 あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

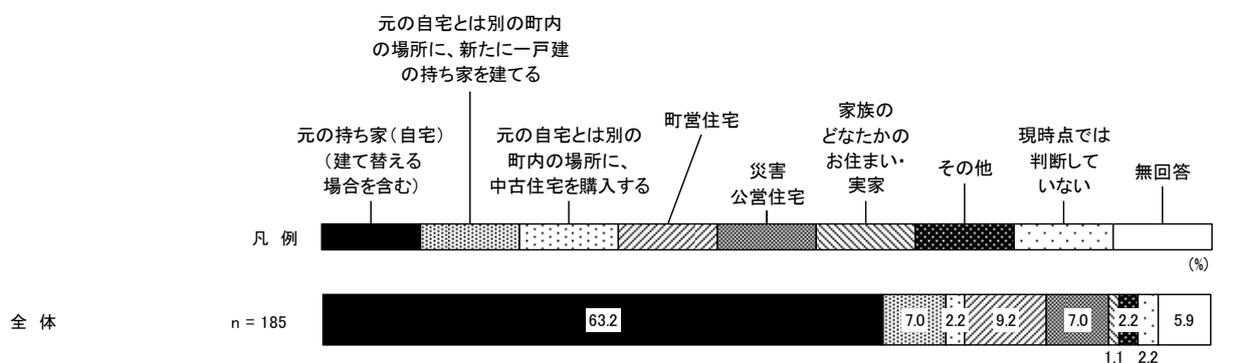
<図表3-3-15 早期に榑葉町に戻る場合の帰還後の世帯構成・人数>



3-3-16 早期に榑葉町に戻る場合の帰還後に予定している住居形態

【問 14 は、問 12 で、「2. 早期に榑葉町に戻る」と回答した方にうかがいます。】
 問 14 (6) 榑葉町に帰還した場合のお住まいは、どのような形態を予定されていますか。(〇は1つ)

<図表3-3-16 早期に榑葉町に戻る場合の帰還後に予定している住居形態>



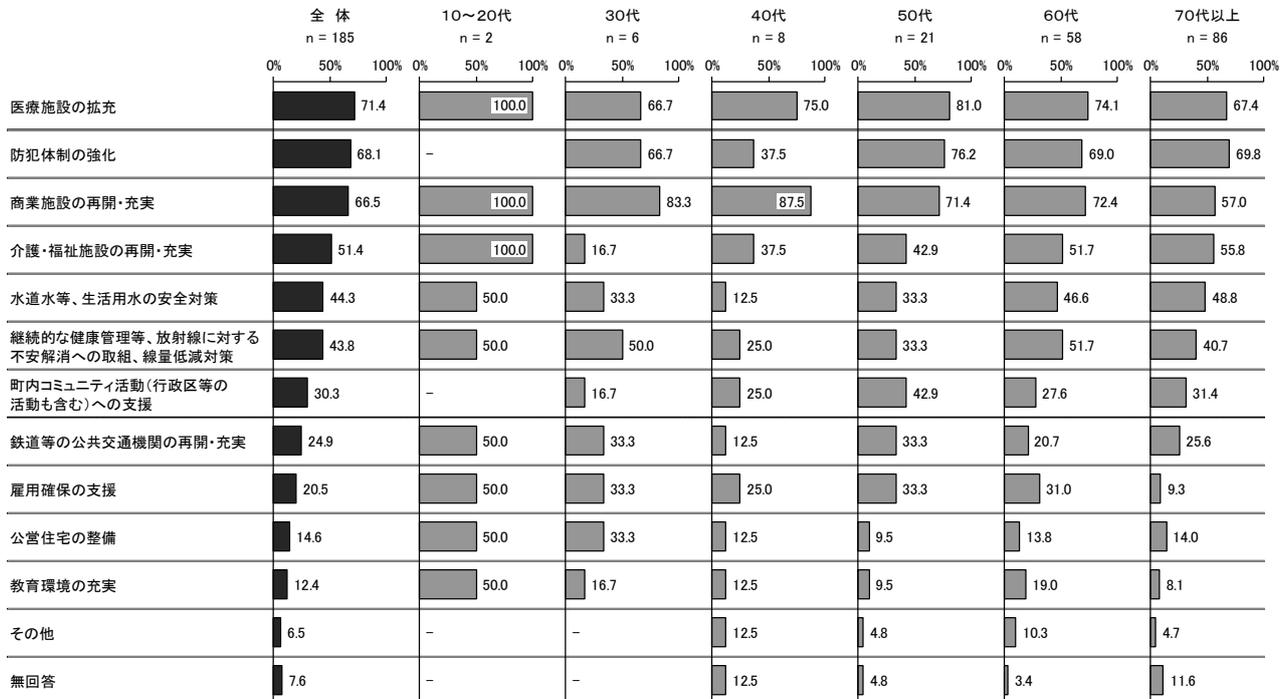
〔その他の内訳〕

元の自宅とは別の町内の場所に、新たに分譲集合住宅を購入する	-
民間賃貸住宅(一戸建)	0.5%
民間賃貸住宅(集合住宅)	0.5%
給与住宅(社宅など)	-
親戚・知人宅	0.5%
その他	0.5%

3-3-17 早期に榊葉町に戻る場合に、榊葉町内での今後の生活において必要だと感じていること

【問 14 は、問 12 で、「2. 早期に榊葉町に戻る」と回答した方にうかがいます。】
 問 14 (7) 榊葉町内での今後の生活において、必要だと感じていることについてお答えください。(〇はいくつでも)

<図表 3-3-17 早期に榊葉町に戻る場合に、榊葉町内での今後の生活において必要だと感じていること (年齢別) >



3-3-18 早期に榑葉町に戻る場合に、榑葉町内での今後の生活において必要だと感じていることの具体的な考え

【問 14 は、問 12 で、「2. 早期に榑葉町に戻る」と回答した方にうかがいます。】

問 14 (8) 問 14 (7) で選択した「必要だと感じていること」のうちで、具体的な考えがあれば、選択肢番号を下記の欄にご記入の上、自由なお考えをご回答ください。

＜早期に榑葉町に戻る場合に、
榑葉町内での今後の生活において必要だと感じていることの具体的な考えの上位項目の主な意見＞

[医療施設の拡充]

- ・緊急で行ける病院。(40代)
- ・皮膚科、耳鼻科、入院出来る病院。(50代)
- ・医師の定着(信頼出来る医師の確保)。診療日の増加、診療時間の延長(月～金、8時頃～18時頃)。(60代)
- ・病院で薬を処方されても榑葉町には薬局がない。町内に薬局を望む。(60代)
- ・以前と同じような数の医療機関があれば良い。(70代以上)

[防犯体制の強化]

- ・自宅には片付けで時々帰るが、いまだに猪がいて、怖くて散歩もできない。街灯も少ない。(50代)
- ・夜間のパトロールを強化してほしい。(60代)
- ・防犯協会や警察等の、各地域のパトロールの回数を増やして欲しい。(60代)
- ・防犯カメラの設置は国道ばかりでなく、町道のところにも設置がほしい。(70代以上)

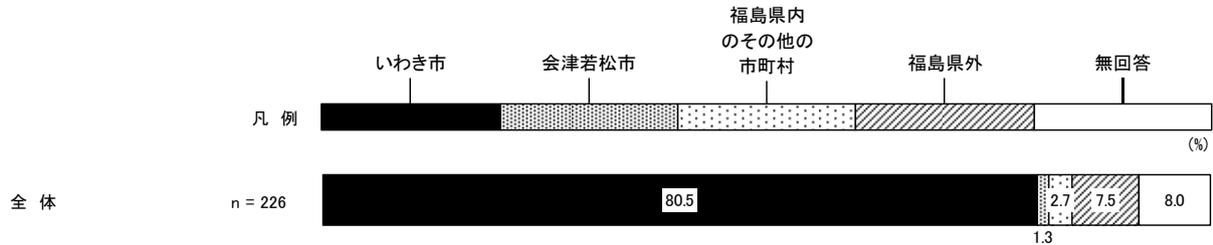
[商業施設の再開・充実]

- ・衣・食・住の中で、衣に対しての商業施設がない。隣町にもないので欲しい。(30代)
- ・外食産業が少ない。外食産業への初期支援を充実させれば、外食する箇所が増えてありがたい。(30代)
- ・大型商業施設を誘致してほしい。(50代)
- ・地元に戻り食料品を買うのに、日曜日はコンビニしか開いていない。いわき市などに行かなければならない。(60代)
- ・買い物ができる所を増やしてほしい。(70代以上)

3-3-19 条件が整えば楡葉町に戻る場合の現在の居住自治体

【問 15 は、問 12 で、「3. 条件が整えば、楡葉町に戻る」と回答した方にうかがいます。
 問 15 (1) あなたが現在お住まいの自治体名を教えてください。(〇は1つ)

<図表3-3-19 条件が整えば楡葉町に戻る場合の現在の居住自治体>



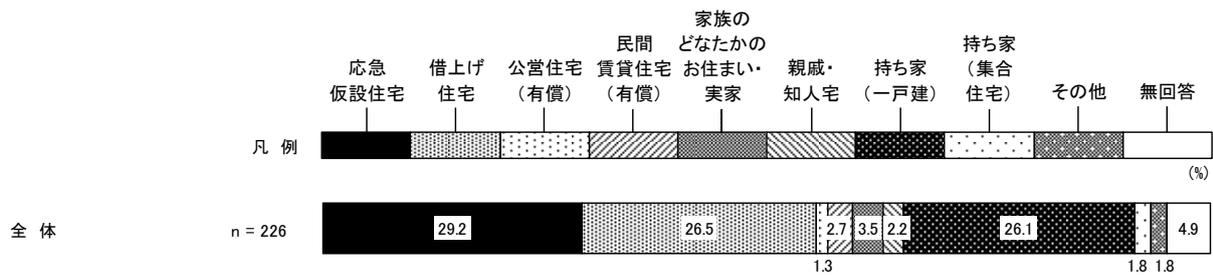
〔その他の内訳〕

会津美里町	0.4%
福島市	0.9%
郡山市	0.4%
福島県内のその他の市町村	0.9%

3-3-20 条件が整えば楡葉町に戻る場合の現在の住居形態

【問 15 は、問 12 で、「3. 条件が整えば、楡葉町に戻る」と回答した方にうかがいます。
 問 15 (2) 現在お住まいの住居は、どのような住居形態ですか。(〇は1つ)

<図表3-3-20 条件が整えば楡葉町に戻る場合の現在の住居形態>



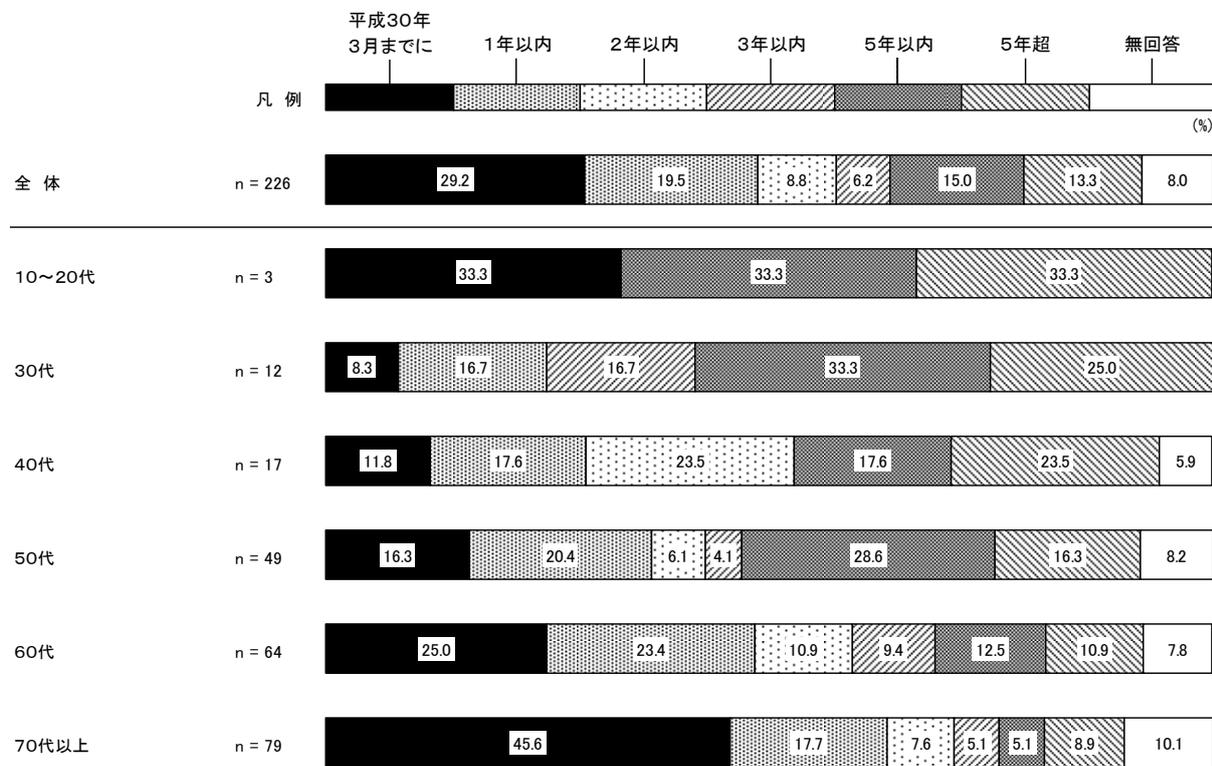
〔その他の内訳〕

給与住宅 (社宅など)	0.9%
その他	0.9%

3-3-21 条件が整えば樫葉町に戻る場合の帰還時期

【問 15 は、問 12 で、「3. 条件が整えば、樫葉町に戻る」と回答した方にうかがいます。
 問 15 (3) 樫葉町に戻る時期について、現在のお考えをお聞かせください。(〇は1つ)

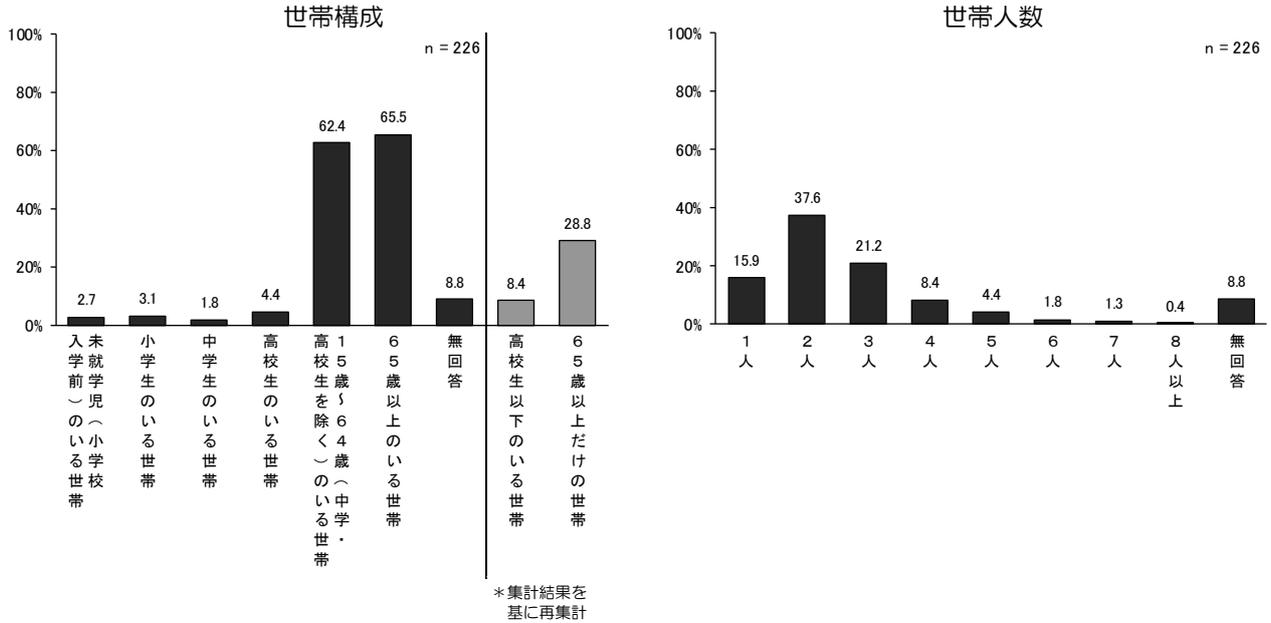
<図表3-3-21 条件が整えば樫葉町に戻る場合の帰還時期(年齢別)>



3-3-22 条件が整えば檜葉町に戻る場合の帰還後の世帯構成・人数

【問 15 は、問 12 で、「3. 条件が整えば、檜葉町に戻る」と回答した方にうかがいます。】
 問 15 (4) 檜葉町への帰還後、どのような家族構成になると考えていますか。あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

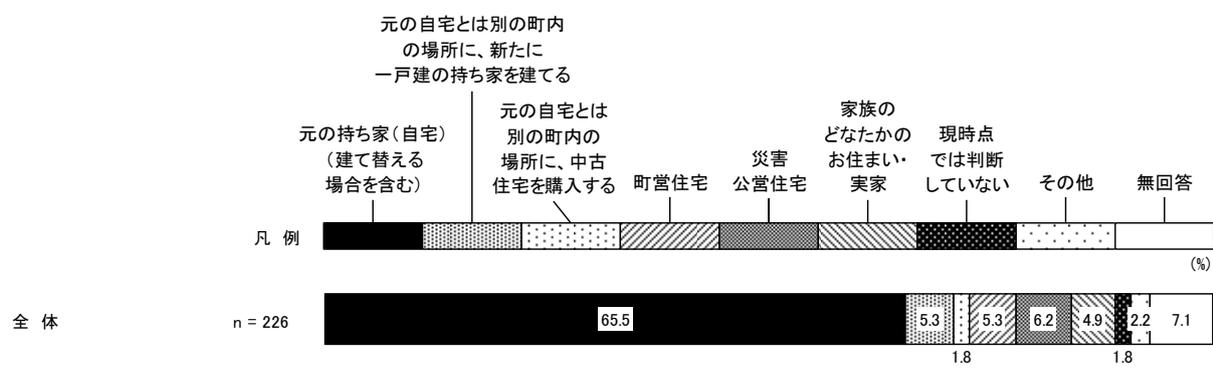
<図表3-3-22 条件が整えば檜葉町に戻る場合の帰還後の世帯構成・人数>



3-3-23 条件が整えば樫葉町に戻る場合の帰還後に予定している住居形態

【問 15 は、問 12 で、「3. 条件が整えば、樫葉町に戻る」と回答した方にうかがいます。】
 問 15 (5) 樫葉町に帰還した場合のお住まいは、どのような形態を予定されていますか。(〇は1つ)

<図表3-3-23 条件が整えば樫葉町に戻る場合の帰還後に予定している住居形態>



〔その他の内訳〕

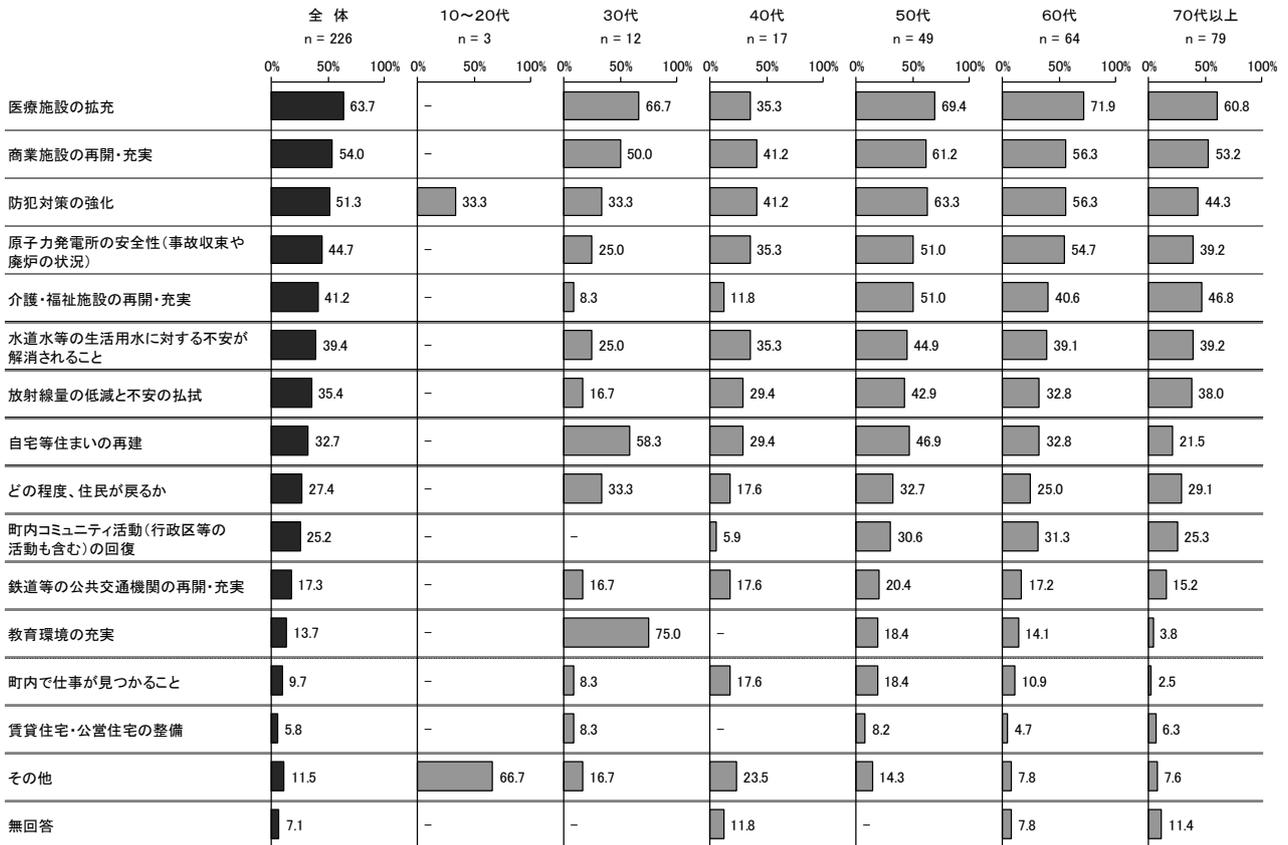
元の自宅とは別の町内の場所に、新たに分譲集合住宅を購入する	0.4%
民間賃貸住宅 (一戸建)	-
民間賃貸住宅 (集合住宅)	-
給与住宅 (社宅など)	0.9%
親戚・知人宅	-
その他	0.9%

3-3-24 条件が整えば檜葉町に戻る場合に、檜葉町に戻る条件として考慮する項目

【問 15 は、問 12 で、「3. 条件が整えば、檜葉町に戻る」と回答した方にかかっています。】

問 15 (6) 檜葉町に戻るにあたり、あなたがその条件として考慮する項目について、あてはまるものをお選びください。(〇はいくつでも)

<図表3-3-24 条件が整えば檜葉町に戻る場合に、檜葉町に戻る条件として考慮する項目(年齢別)>



3-3-25 条件が整えば樫葉町に戻る場合に、樫葉町に戻る条件として考慮する項目の具体的な考え

【問 15 は、問 12 で、「3. 条件が整えば、樫葉町に戻る」と回答した方にうかがいます。】
 問 15（7） 問 15（6）で選択した「条件として考慮する項目」のうちで、具体的なお考えがあれば、選択肢番号を下記の欄にご記入の上、自由なお考えをご回答ください。

＜条件が整えば樫葉町に戻る場合に、樫葉町に戻る条件として考慮する項目の具体的な考えの主な意見＞

[医療施設の拡充]

- 大きい病院を作る。(30代)
- 医療施設の充実を（透析出来る施設が無い）。(60代)
- 入院設備等の充実。(60代)

[商業施設の再開・充実]

- 大手ファーストフードや、DVD レンタル屋等を誘致してほしい。(30代)
- 高齢者の移動手段の充実。(50代)
- 休日でも買物ができる。(60代)
- 移動販売（週2回位）。(70代以上)

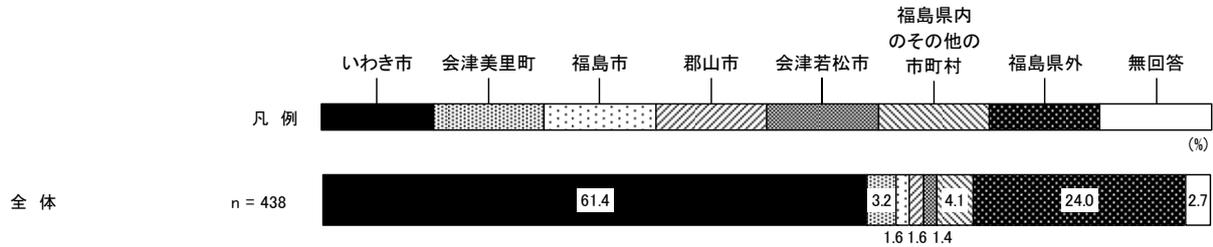
[防犯体制の強化]

- 子供達が安心して学校、駅まで通える環境を整えてほしい。(30代)
- 町全体が暗い。人気が無い地域の防犯対策を真剣に考えてほしい。外灯を増やしてほしい。(30代)
- 町内パトロールの実施（夜間）。(30代)

3-3-26 榑葉町に戻らない場合の現在の居住自治体

【問 16 は、問 12 で、「4. 榑葉町には戻らない（他市町村での自主再建の方も含む）」と回答した方にうかがいます。
問 16 (1) あなたが現在お住まいの自治体名を教えてください。（〇は1つ）

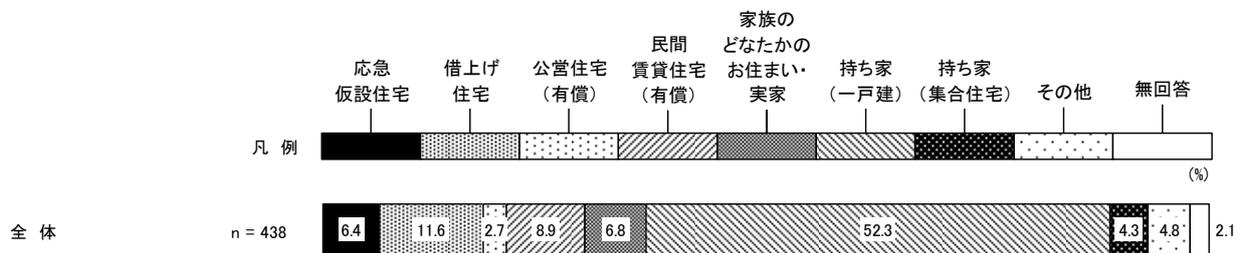
<図表3-3-26 榑葉町に戻らない場合の現在の居住自治体>



3-3-27 榑葉町に戻らない場合の現在の住居形態

【問 16 は、問 12 で、「4. 榑葉町には戻らない（他市町村での自主再建の方も含む）」と回答した方にうかがいます。
問 16 (2) 現在お住まいの住居は、どのような住居形態ですか。（〇は1つ）

<図表3-3-27 榑葉町に戻らない場合の現在の住居形態>

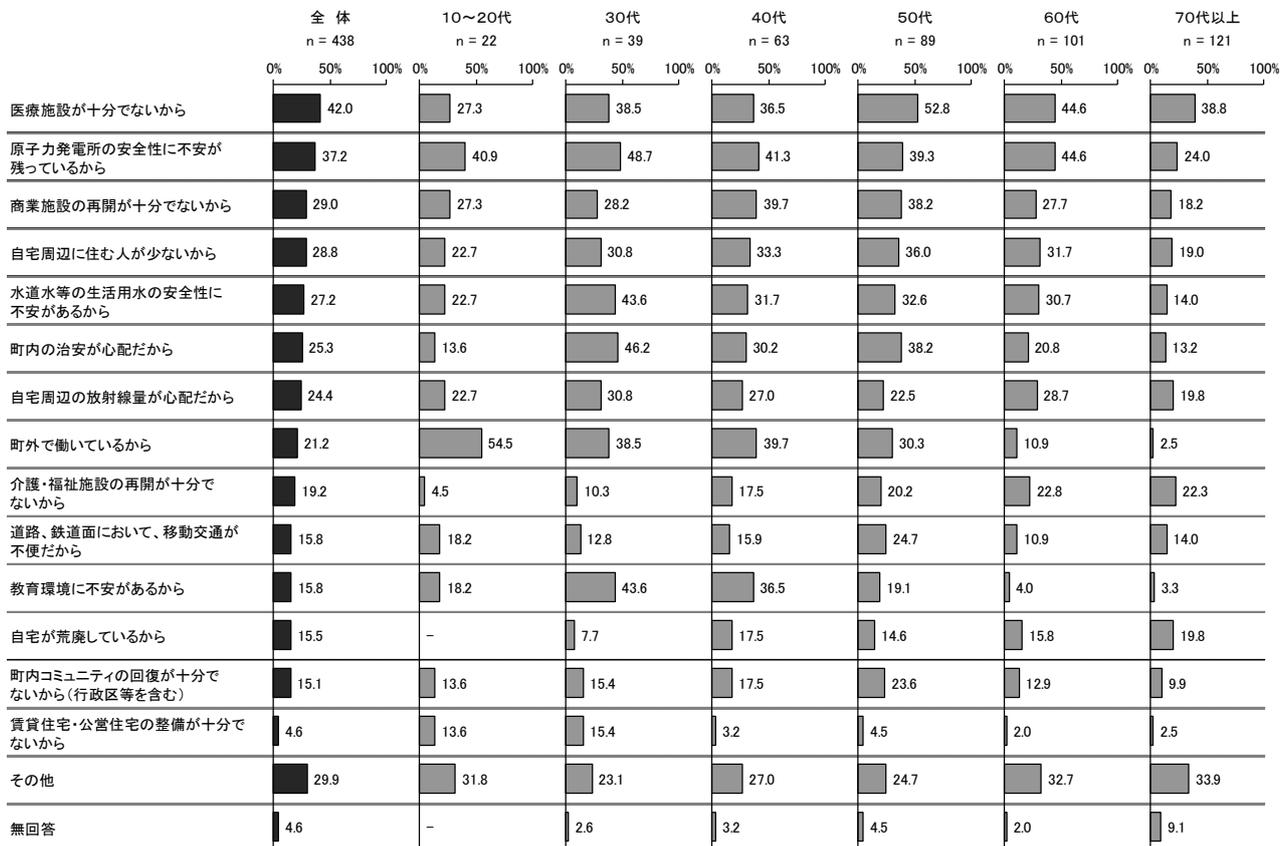


〔その他の内訳〕
 給与住宅（社宅など） 0.9%
 親戚・知人宅 0.2%
 その他 3.7%

3-3-28 榑葉町に戻らないと決めている理由

【問 16 は、問 12 で、「4. 榑葉町には戻らない（他市町村での自主再建の方も含む）」と回答した方にうかがいます。
問 16（3） 榑葉町に戻らないと決めている理由はどのようなことですか。（〇はいくつでも）

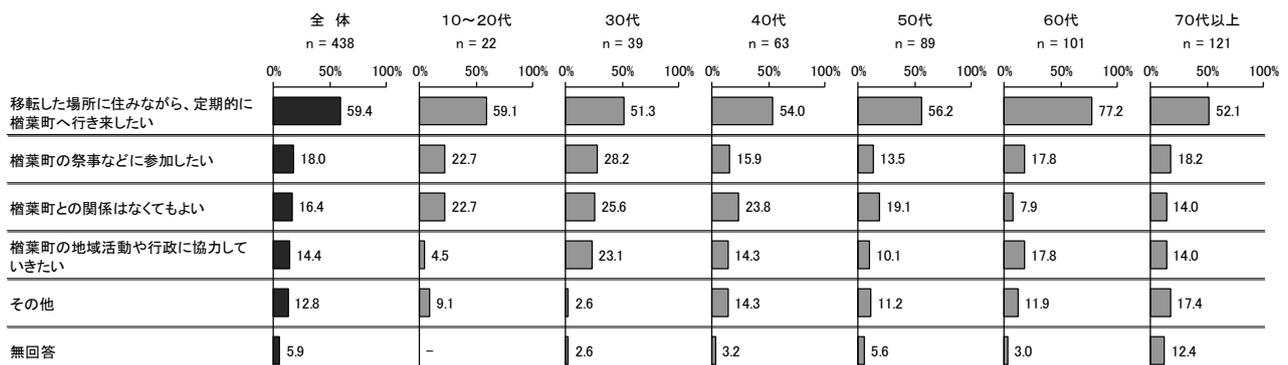
<図表3-3-28 榑葉町に戻らないと決めている理由（年齢別）>



3-3-29 榑葉町に戻らない場合の今後の榑葉町との関係

【問 16 は、問 12 で、「4. 榑葉町には戻らない（他市町村での自主再建の方も含む）」と回答した方にうかがいます。
問 16（4） 今後、榑葉町との関係をどのようにお考えですか。（〇はいくつでも）

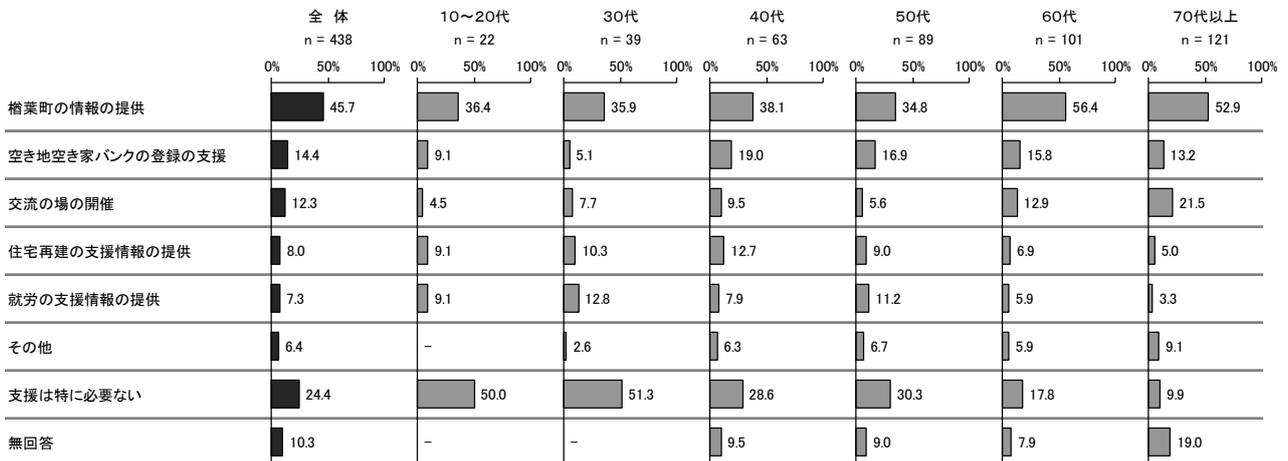
<図表3-3-29 榑葉町に戻らない場合の今後の榑葉町との関係（年齢別）>



3-3-30 榑葉町に戻らない場合に今後必要な支援

問 16 は、問 12 で、「4. 榑葉町には戻らない（他市町村での自主再建の方も含む）」と回答した方にうかがいます。
 問 16 (5) 今後、必要な支援はどのようなことですか。（〇はいくつでも）

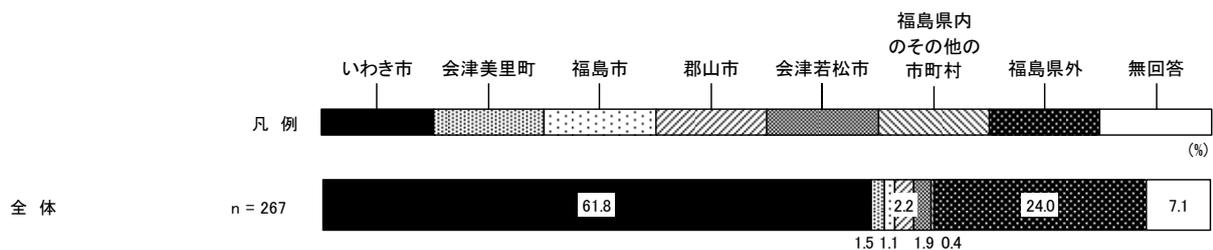
<図表3-3-30 榑葉町に戻らない場合に今後必要な支援（年齢別）>



3-3-31 榑葉町に戻るか判断ができない場合の現在の居住自治体

【問 17 は、問 12 で、「5. 戻るかどうかについて、今はまだ判断ができない」と回答した方にうかがいます。】
 問 17 (1) あなたが現在お住まいの自治体名を教えてください。（〇は1つ）

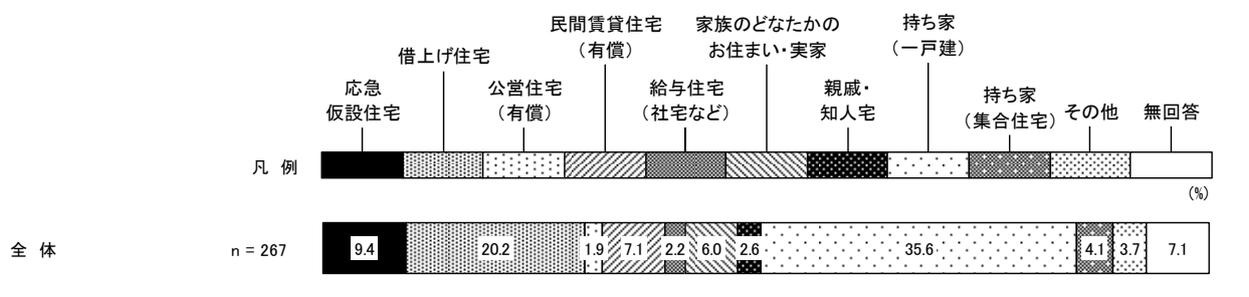
<図表3-3-31 榑葉町に戻るか判断ができない場合の現在の居住自治体>



3-3-32 榑葉町に戻るか判断ができない場合の現在の住居形態

【問 17 は、問 12 で、「5. 戻るかどうかについて、今はまだ判断ができない」と回答した方にうかがいます。】
 問 17 (2) 現在お住まいの住居は、どのような住居形態ですか。(〇は1つ)

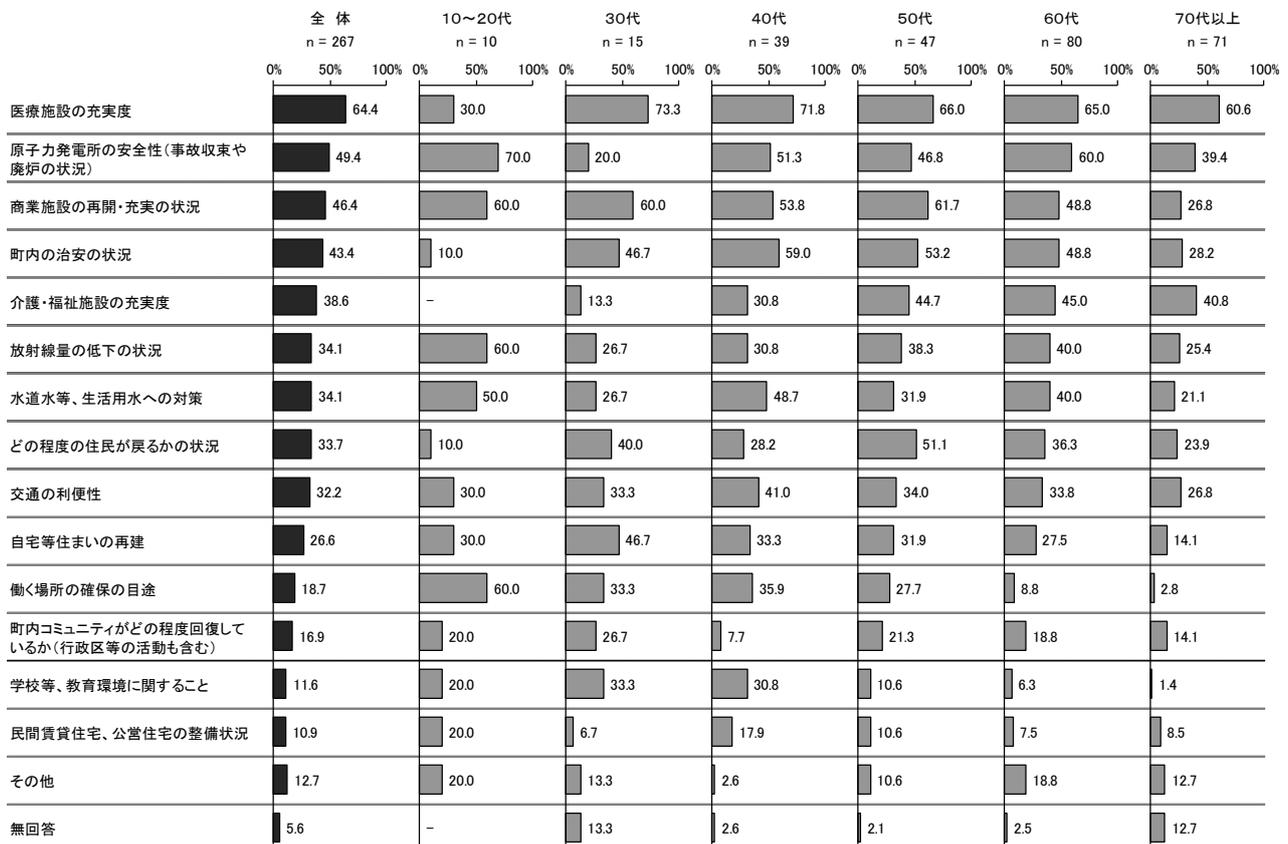
＜図表 3-3-32 榑葉町へ戻るか判断できない場合の現在の住居形態＞



3-3-33 榑葉町に戻るか判断ができない場合に、帰還を判断する上で参考とする項目

【問 17 は、問 12 で、「5. 戻るかどうかについて、今はまだ判断ができない」と回答した方にうかがいます。】
 問 17 (3) 榑葉町に戻るかどうかの判断をする際に、あなたが参考にする項目について、あてはまるものを選びください。(〇はいくつでも)

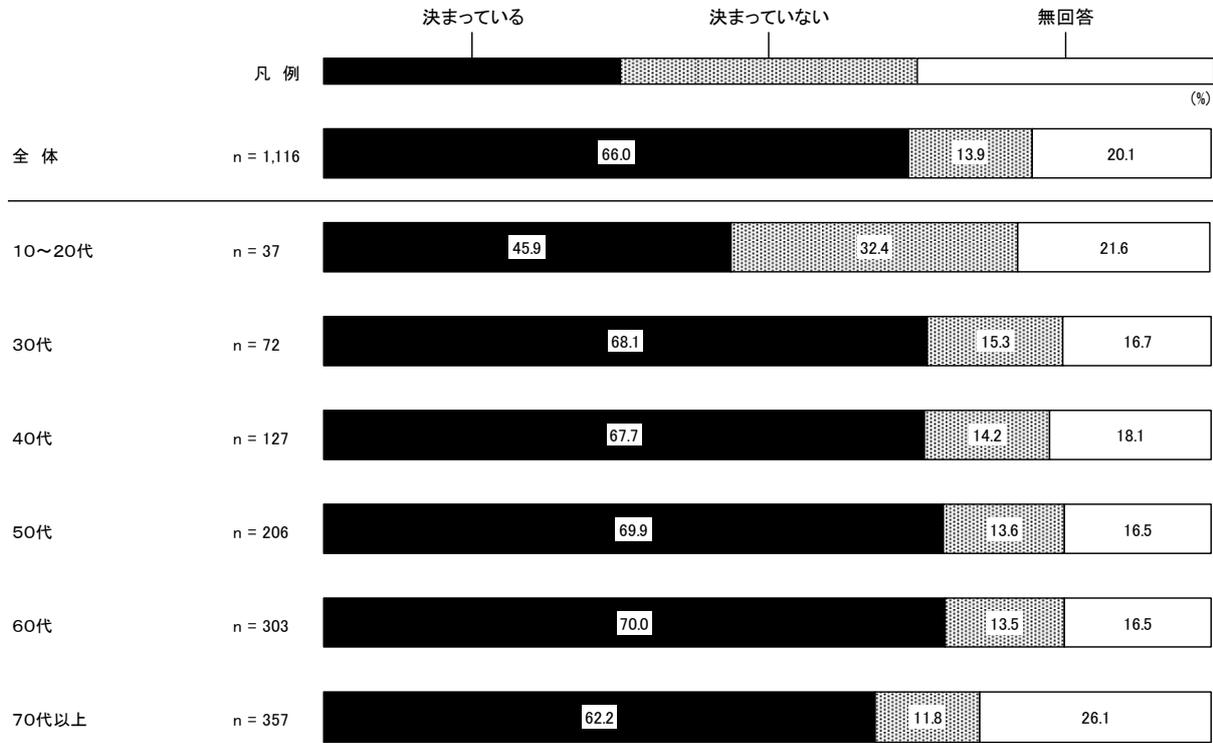
＜図表 3-3-33 榑葉町に戻るか判断できない場合に、帰還を判断する上で参考とする項目(年齢別)＞



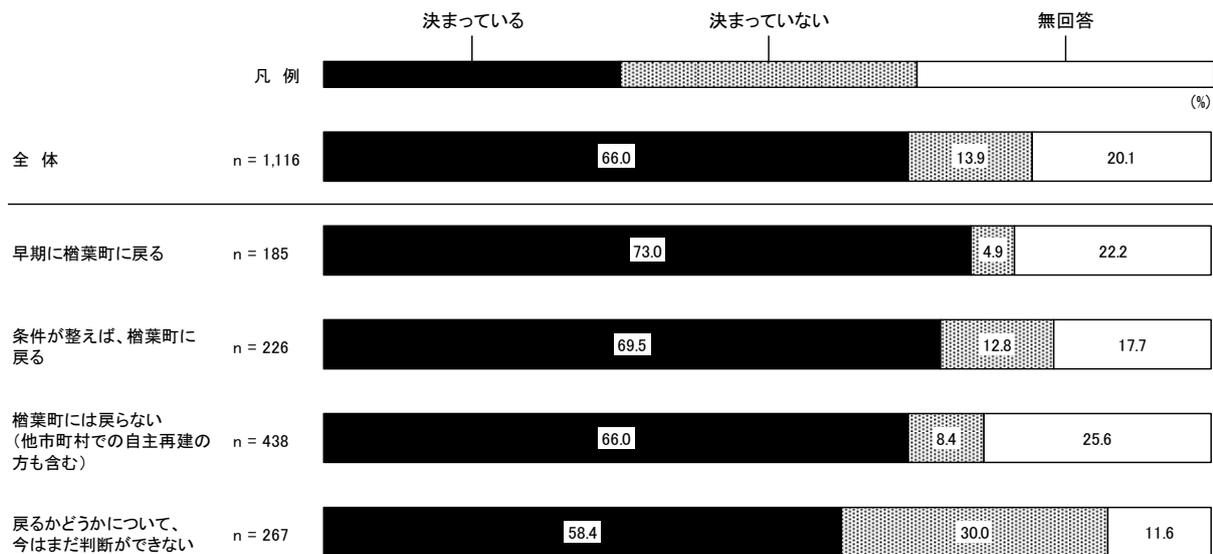
3-3-34 檜葉町に戻っていない場合の平成30年4月以降の住まい

【問18は、問12で、「2. 早期に檜葉町に戻る」「3. 条件が整えば、檜葉町に戻る」「4. 檜葉町には戻らない（他市町村での自主再建の方も含む）」「5. 戻るかどうかについて、今はまだ判断ができない」と回答した方にうかがいます。
問18(1) 平成30年4月以降のお住まいは、すでに決まっていますか。(〇は1つ)

<図表3-3-34-1 檜葉町に戻っていない場合の平成30年4月以降の住まい(年齢別)>



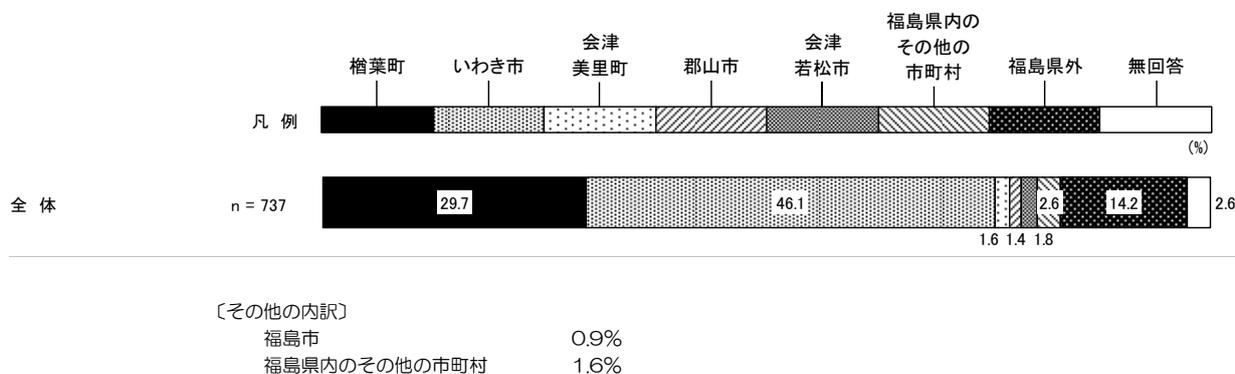
<図表3-3-34-2 檜葉町に戻っていない場合の平成30年4月以降の住まい(帰還の意向別)>



3-3-35 平成30年4月以降の住まいが決まっている場合の居住自治体

【問18(1)で「1. 決まっている」と回答した方にかがいます。】
 問18(2) 平成30年4月以降にお住まいの自治体名を教えてください。(〇は1つ)

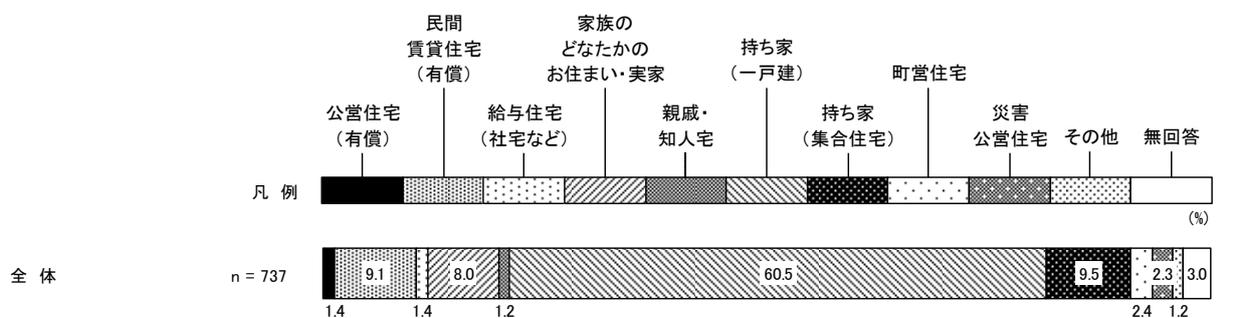
<図表3-3-35 平成30年4月以降の住まいが決まっている場合の居住自治体>



3-3-36 平成30年4月以降の住まいが決まっている場合の住居形態

【問18(1)で「1. 決まっている」と回答した方にかがいます。】
 問18(3) 平成30年4月以降のお住まいは、どのような住居形態ですか。(〇は1つ)

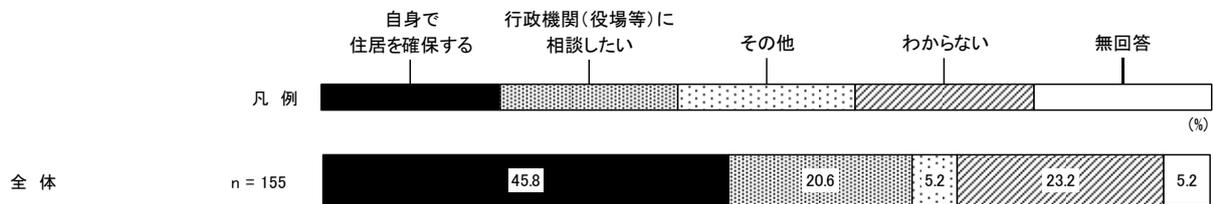
<図表3-3-36 平成30年4月以降の住まいが決まっている場合の住居形態>



3-3-37 平成30年4月以降の住まいが決まっていない場合の住居の確保

【問18(1)で「2. 決まっていない」と回答した方にうかがいます。】
 問18(4) 平成30年4月以降の住居の確保について、お考えに近いもの1つお選びください。(〇は1つ)

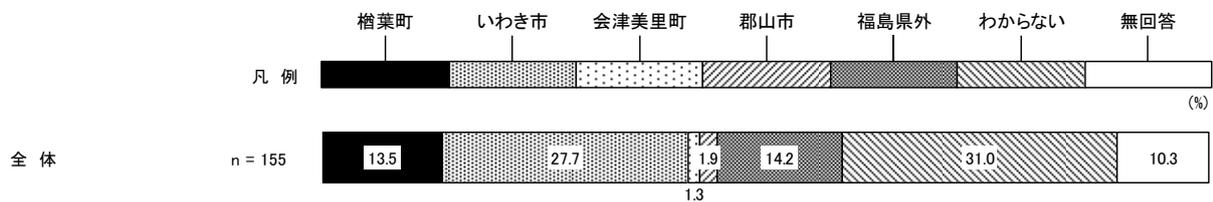
<図表3-3-37 平成30年4月以降の住まいが決まっていない場合の住居の確保>



3-3-38 平成30年4月以降の住まいが決まっていない場合の居住自治体

【問18(1)で「2. 決まっていない」と回答した方にうかがいます。】
 問18(5) 平成30年4月以降、どの自治体に住むことを希望しますか。(〇は1つ)

<図表3-3-38 平成30年4月以降の住まいが決まっていない場合の居住自治体>

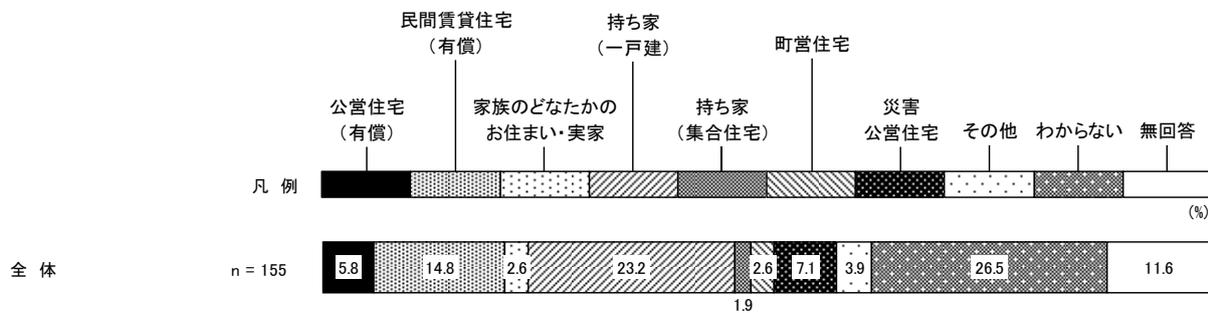


〔その他〕
 福島市 -
 会津若松市 -
 福島県内のその他の市町村 -

3-3-39 平成30年4月以降の住まいが決まっていない場合の希望する住居形態

【問18(1)で「2. 決まっていない」と回答した方にうかがいます。
 問18(6) 平成30年4月以降、どのような住居形態を希望しますか。(〇は1つ)

<図表3-3-39 平成30年4月以降の住まいが決まっていない場合の希望する住居形態>



〔その他の内訳〕
 給与住宅（社宅など） -
 親戚・知人宅 0.6%
 その他 3.2%

3-4 意見・要望

問 19 町の復興に対して、日頃お感じになっているお気持ちや今後のあなたの展望などを自由にお書きください。

国や自治体への要望、復興に対する展望や気持ちなどについて、446 世帯から回答があった。ここでは、記入された回答を下記項目に分類し、代表的なものを抜粋して掲載する。

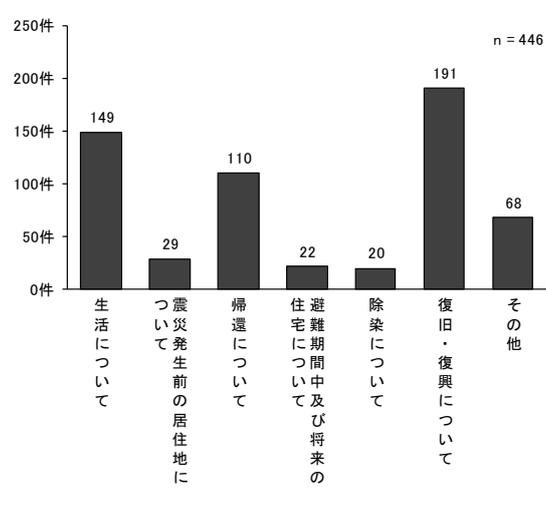
<p>●生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難生活の長期化への不安 ・元の生活が取り戻せるかどうかの不安 ・元の生活、安定した生活の回復 ・元の生活に戻ることについてのあきらめ ・現在の生活について ・現在の生活の人間関係・コミュニティについて ・現在の生活の経済的な不安について ・現在の生活の仕事・学業に関する不安について ・現在の生活全般の不安について ・将来の生活に関する考えについて ・将来の生活の経済的な不安について ・将来の生活の健康に関する不安について ・将来の生活の仕事・学業に関する不安について ・将来の生活全般の不安について ・生活（再建）支援について ・防犯（治安・安心）について ・その他 	<p>●除染について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除染作業の効果などについて ・除染作業の実施箇所などについて ・除染作業の早期・迅速・的確な実施について ・除染廃棄物の処理について
<p>●震災発生前の居住地について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所有する住まい・土地の買取りについて ・自宅の現状（被害状況）について ・自宅の再建・改築・解体について ・元の住居や土地などの管理・処分について ・元の住居や土地に対する税について ・その他 	<p>●復旧・復興について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復旧・復興の遅れ、長期化について ・復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について ・町村合併について ・ライフライン・インフラの整備について ・社会福祉施設の整備について ・医療施設の復興・充実について ・学校の復興・充実について ・商業の復興・充実について ・住民の参加・自助努力について ・早期の原状回復・復興実現について ・その他
<p>●帰還について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰還への不安 ・帰還したい ・帰還しない ・現時点では帰還の判断ができない ・帰還に関する施策について ・帰還を望まない人への対応について ・その他 	<p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について ・廃炉作業の迅速な実施について ・行政や東電の対応について ・今後のエネルギー政策について ・行政に対する謝意、励まし ・その他
<p>●避難期間中及び将来の住宅について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興公営住宅の建設地・形態等について ・復興公営住宅への入居について ・居住場所の確保について ・借上げ住宅について ・住宅の購入について ・その他 	

※掲載する文章は原文を基本とするが、固有名詞が含まれている場合や長文の場合などは、一部省略している。

※一世帯の回答の内容が、複数のテーマにわたる場合は、それぞれの項目へ分類している。

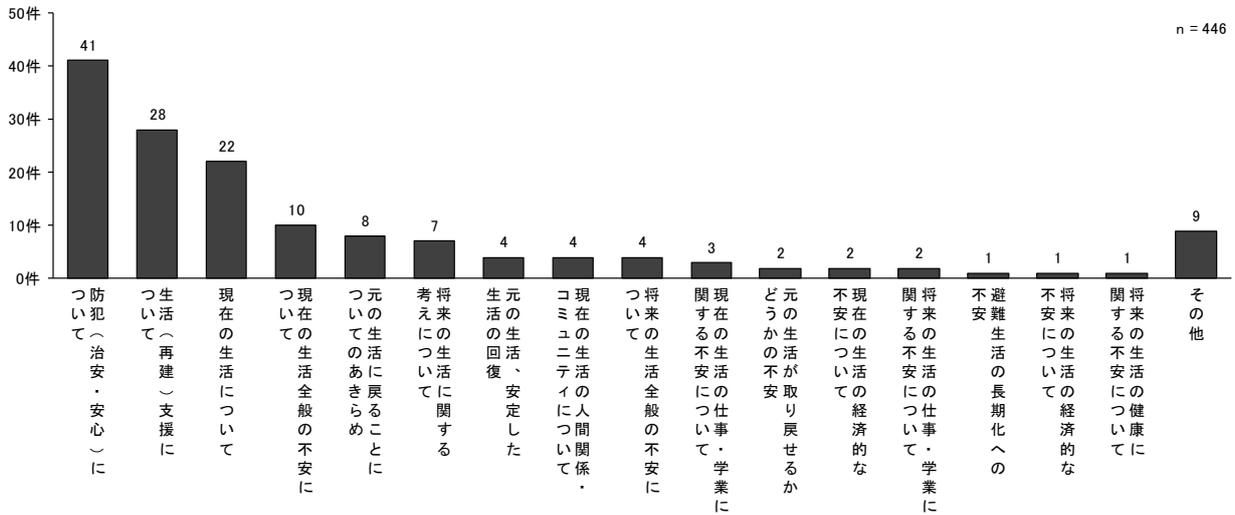
3-4-1 意見に係る記入内容の分類結果

<図表3-4-1 意見に係る記入内容の分類結果>



3-4-2 生活について

<図表3-4-2 生活についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【防犯（治安・安心）について】

- 今、自宅を修理してもらっているのですが、修理業者の方の道具が盗難にあっているようです。自宅近辺の住民がまだ帰還していない所が多いので、知らない人が動きやすい環境でもあります。メディアなどでも事件があったとのニュースも見受けられ、場所によってはまだまだ安心して住めるまでは時間が必要かもしれません。小さい子供もいるので心配です。（30代）
- まだまだ野性の動物（イノシシ）が出没して、跡形もなく庭を荒らしている。（70代以上）
- 復興半ばで何とも言えませんが、町内の防犯対策として、外燈が少ないと感じております。（70代以上）

【生活（再建）支援について】

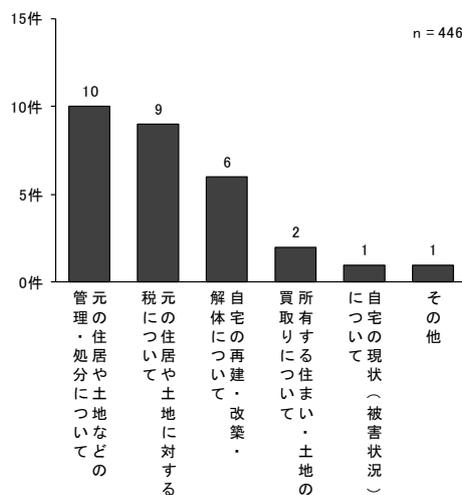
- 仮設住宅等主な避難場所への支援ばかりで、その他に避難した人への支援はほとんどなく、格差があると思う。（40代）
- 福島県内の自宅に戻りたくても、仕事、学校で戻れない状況にある住民（楡葉町に自宅があり、固定資産税を納めている住人）に対しても、県内に居住する住民と同じとは言わないが、何らかの形で少しでも支援金等をしてほしい。（50代）
- 町への復興は素晴らしいと思いますが、一部の人達がとり残されていることを忘れてはいけないと思う。津波で家を無くした者への心配りが無い。（70代以上）

【現在の生活について】

- 自分自身は嫁いで楡葉町から転出しましたが、家族は楡葉町に戻って住み始めており、時々実家に帰っています。天神岬など遊ぶ子どもの姿がたくさん見られて、うれしく思いました。今後も復興が進んでいくことを願っています。（10～20代）
- 楡葉町の働く場所、医療などが整っていない。食料などの買い物が不便。（40代）
- 復興が遅い。帰町を考えていた人々も戻りづらい町になっている様に思う。すでに戻っている人達の生活をもっと考えてほしい。（60代）

3-4-3 震災発生前の居住地について

<図表3-4-3 震災発生前の居住地についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【元の住居や土地などの管理・処分について】

- ・跡継ぎがないので宅地、田、畑、山を売買したいが、原発事故があり売れない。仲買を紹介してほしい。(60代)
- ・農地を保有して天水田で沢水等を利用して作付けをしていたが、震災後多くの離農者があり、作付けが出来ない状況である。平成30年以降どの様に維持管理していけばよいかわからない。(60代)
- ・町の復興には、まず農業の復興が一番だと思います。農地が荒れ放題では住みたいにも住むことが出来ません。帰っても農業はやらないと言う人がほとんどです。やりたくても高齢で出来ない人もいます。遊休農地対策・荒放題の農地を、どうしたらなくすことが出来るか、町として本気で考えてほしい。(70代以上)

【元の住居や土地に対する税について】

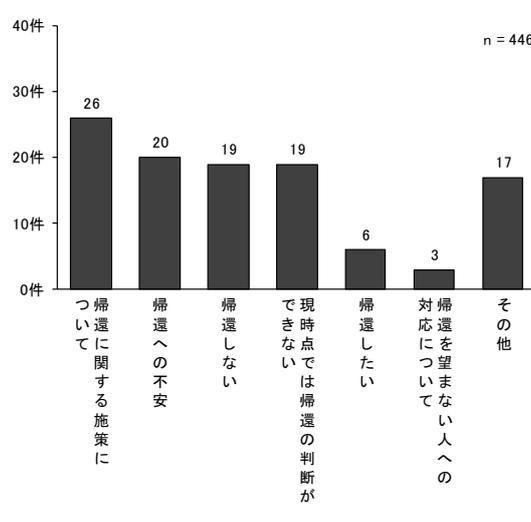
- ・今の町の現状に対し、住民税が高すぎる。見合っていない。コンパクトタウンの充実や歩道の整備等をもっとしてほしい。(30代)
- ・私は、現在福島県外で生活をし、収入的にも一時帰宅等で出費が大変な状況なのに、町、県民税の納付金額が異常な額だと思っている。(40代)
- ・住む事も出来ず、売る事も出来ない物に対して、固定資産税は半額の税金とはいえ、支払いに納得出来ない。東京電力による支払いを望む。(60代)

【自宅の再建・改築・解体について】

- ・土地の利用を考え母屋を実費で解体したが、行政の解体で行って欲しかった。(50代)
- ・自宅の解体がなかなか進まず、忘れ物をしているみたいで気持ちが重いです。(60代)

3-4-4 帰還について

<図表3-4-4 帰還についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

[帰還に関する施策について]

- 買い物、かかりつけの病院、そこに行く為の足。榑葉町に人を集めるイベントも良いのですが、町民を戻すまたは新たに定着化させる為に復興に係わる予算を使って貰いたいと思う。榑葉町は、こんなに便利な町だよと言える町にはならないものではないでしょうか。震災、原発事故で全町民が着の身着のまま住み慣れた町から出され、榑葉町より便利な土地で6年7ヵ月の避難生活。以前の榑葉町でも戻るにもためらいがあるのに、現状の町では戻れません。(50代)
- 榑葉町に若い人たちに住んでもらうためには、住宅や職業の紹介などを積極的に行うなど、思い切った政策が必要だと思う。給食費の無料化、保育料の補助なども必要だと思います。(60代)
- 榑葉町の人口は5～6年先には元に戻るのかと思われませんが、それには、若い方々が優先と思われます。公園の整備は元より、児童の為にどうすれば良いか。人が多く集まる所等を取捨するなどで作る、町の遊具も含めお金を使わなくても1日遊べて、家族団欒が出来る様な所が1ヶ所でも出来ると良いのではないのでしょうか。地区の遊歩道も含めて所々にイスを設置して、話し合いの場所等のコミュニティが出来る様な計画が、出来れば幸いと思います。(70代以上)

[帰還への不安]

- 時が経ち過ぎて、子供をゆっくり育てていきたかったが戻るタイミングがなく、ずるずると時だけ経ってしまった。戻れる環境が整わないうちに子供は成長し、子供らしく遊ぶという環境がなくなったのは残念だったと思う。戻りたい気持ちはあったが、戻るたびにこの黒い袋の山をみると、とても戻れないと思ってしまう。(30代)
- 猪が人間の生活圏内にいると思うと、戻ってからが心配です。榑葉町は、自然豊かな里山なのに、山菜採りや魚釣り等できないのが歯がゆい。山林・河川の除染は、時間がかかっても少しずつでも進めるべきだと思う。(60代)
- 戻ってくる人が少ないのが不安。前の様な地域の人とのつながりが出来るか心配だ。(70代以上)

【帰還しない】

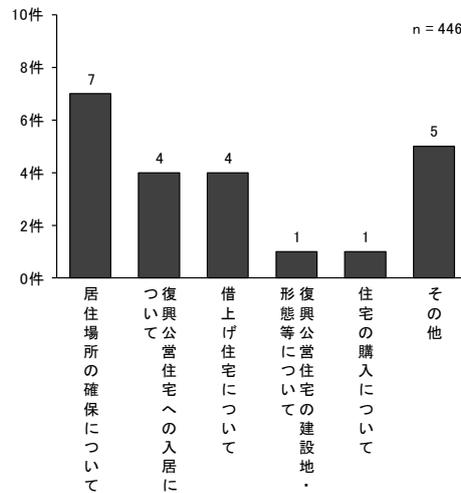
- 震災から6年が経ち、警戒区域も解除し住民が戻れる状態になっているが、元の町へ戻ることは難しい問題だと思う。若い世代が戻らなければ、町は過疎化してしまう可能性もある。自然豊かな榊葉町で私達家族は10年間住み、色々な面でお世話になったので、今後も間接的に支援し町の存続を見守りたいと思う。
(40代)
- すべての復興が急ピッチで進んでいるものと思われる。しかしながら、長期にわたっての避難生活で既に榊葉町外で定着しており、今更戻り気にはなれない。(70代以上)

【現時点では帰還の判断ができない】

- 現在、榊葉町外で就労しているため、退職まではその場所で居住する。退職後はその時点で考えることとする。(50代)
- 町が色々な面で少しずつ着実に復興している状況は感じます。しかし、6年余の避難生活で家族の状況に変化(健康、勤め先等)もあり、町に戻るかどうかの判断は中々できないでいる。(60代)

3-4-5 避難期間中及び将来の住宅について

<図表3-4-5 避難期間中及び将来の住宅についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【居住場所の確保について】

- 津波で家が流された方、地震の影響で家を解体した方、その方々は再建する場所も資金もあるのに、なぜ復興住宅入居の条件に該当するのでしょうか。現在、仮設住宅退居後の住居を探していますが見つかりません。(10～20代)
- 住宅の確保のため、4年間毎月県営住宅入居の申込みをしているが、中々当選に至らない状況です。今後、民間の賃貸住宅をとなると、生活が成り立たない状態です。復興公営住宅の入居が該当するようなすべは何もないのでしょうか。また、県営住宅への特別措置はないのでしょうか。(60代)

【復興公営住宅への入居について】

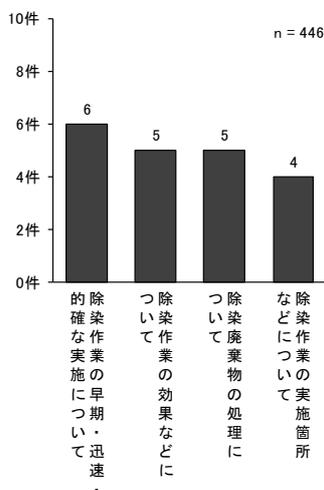
- 榎葉の家にはまだ住める状況ではなく、リフォーム時期も決まっていないので、復興公営住宅に入れるようなら入りたい。(30代)
- 現在、すぐに榎葉町に戻る事ができません。何年後でも復興公営住宅に入居できる様にしていきたい。(40代)

【借上げ住宅について】

- 中学生の子供がいます。震災で県外の小学校、中学校に在学しました。借上げ住宅が終了となっても、県外で6年も過ごしていると簡単には帰れないし、家の再建ができていません。榎葉町には高校もないので、子供を持つ親は皆さん大変な思いでの居住地を選択されていると思います。特例で住宅の延長が通りましたが、子供がいる所はもっと延長していただかないと、大学や高校への進路まで影響が出ます。どうか高校卒業するまでの借上げの延長ができるように希望します。よろしくお願いします。(50代)
- 榎葉町の自宅に戻りたいと考えており、大工さんをお願いしてありますが、中々着工していただけません。早期に借上住宅を出たいのですが、困っています。着工が4月にずれ込む場合も考えられ、仕方ありませんので自費で借上げの延長をするしかないと考えています。(60代)

3-4-6 除染について

＜図表3-4-6 除染についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【除染作業の早期・迅速・的確な実施について】

- 事故前の放射線量にしてほしい。そうしなければ本当の復興にはならない。また、子供達も戻らないと思う。(40代)
- 復興はしていると思うが、それに伴う生活環境の安全が確保されていない。楢葉町は20km圏内だということ忘れてはいけない。(50代)

【除染作業の効果などについて】

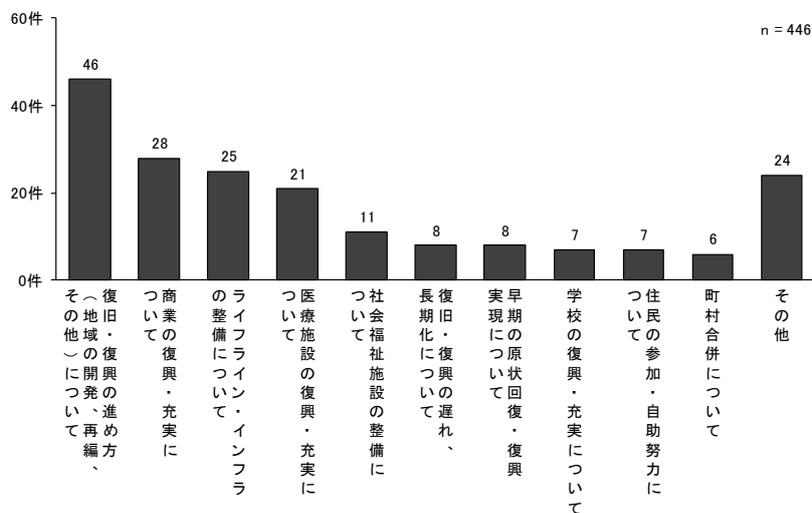
- インフラ整備等復旧工事が着実に進められている。学校が再開し子供の声が聞こえるようになった。若者や子供達が住みたくなる町にしてほしい。放射線の風評被害を根絶するための徹底した除染をお願いしたい。(60代)
- 水道原水中のストロンチウム濃度の測定をすることや木戸ダム底の堆積物を取り除くべきです。また生活圏外の山林の除染の早期実施を希望します。(60代)

【除染廃棄物の処理について】

- 除染物をいつ頃まで町内に置いておくのか、具体的な期日がわからないと不安を感じる事がある。(30代)
- 仮置場(除染土等)の早期復旧等の問題。(50代)

3-4-7 復旧・復興について

＜図表3-4-7 復旧・復興についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

〔復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について〕

- ・小規模なイベントや箱物を建てる等に税金を使うなら、医療機関や介護施設、サービスを充実させてほしい。ただ目立つような復興事業ばかりでなく、もっと細かなところにも目を向けて住民により添ってほしい。（40代）
- ・町復興の優先順位があると思いますが、行政区から要望した町民が気軽に立ち寄れる場所の設置は約束したにも関わらず、着手されていません。また、医療・教育・商業・農業等に頑張って頂いていますが、もう少しエリアを拡大し、近隣の町が協力し合い、もっと充実した施設は出来ないでしょうか。将来の町づくりについて、本気で取組む時期になっていると思います。現在の復興計画では希望がもてないと思う。（50代）
- ・復興での各種建物の建設でなく、もっとインフラの整備や、放射線除却に使うべきと思います。復興予算について、もっと考えて使うべきと考えます。（70代以上）

〔商業の復興・充実について〕

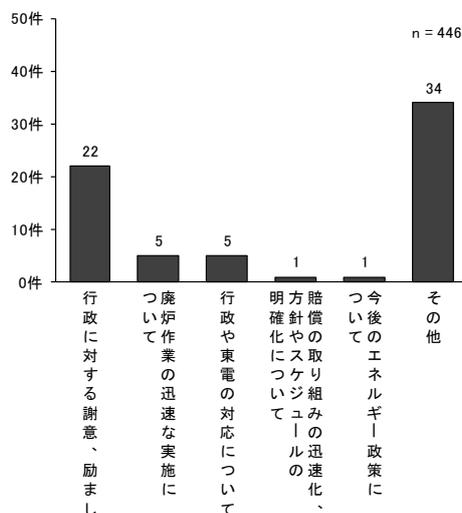
- ・近くに、子供用品や衣類のお店がなく困っています。以前は近隣の町に子供衣類があり、いざという時に買いに行けましたが、今は遠方に行くしかありません。榎葉町に子供用品や衣類が充実したお店を建てて下さい。子供達のためにもよろしくお願いします。（10～20代）
- ・雇用は他地域より充実していると思う。ただ、病院の診察時間が短いことや、薬局がないことはとても不便です。（30代）
- ・榎葉へ帰還しましたが、土・日曜日が休みの商店では不便である。（70代以上）

〔ライフライン・インフラの整備について〕

- ・公道の生活道の整備。（60代）
- ・年令と共に運転も不安になった時、買物、病院等が不自由になる。町内バスの運行も必要。回数を多くする等も。（70代以上）

3-4-8 その他

＜図表3-4-8 その他の意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【行政に対する謝意、励まし】

- 今まで通り、順調に復興への活動にご協力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。(30代)
- 櫛葉町の公営住宅にお世話になっています。これから町の復興のため、皆様方の努力を期待しております。各方面からも、櫛葉町への災害公営住宅への帰宅が増えると思っております。若者達も仕事の面が考えていると思われま。商業施設においてはこれからの櫛葉町へ期待したいと思っております。ありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします！(60代)
- 現在、高齢になっても働いています。いつまで働けるかは自分でもわかりませんが、必要とされていることと、永年働き身体でおぼえた技術、世話が出来ることのありがたさに感謝しています。自分の持っている心と力で、少しでも手助け出来ればと思っています。櫛葉の自宅に帰ったときも、出来るかぎり働いて力になりたい。(70代以上)

【廃炉作業の迅速な実施について】

- 原発の事故収束。廃炉がない限り復興はない。(60代)
- 第一に第2原子力発電所廃炉にすること。(60代)

【行政や東電の対応について】

- 私は櫛葉にお金を(ローン)借りて家を買って住む決断をしました。以前の好きだった町に、一人でも多くの住民になるように協力していきたいと思っています。ただ、帰って来てほしいと言いながら一人住まいの人にはやさしくない事がありました。(50代)
- 既に帰町している知り合いの話を聞いたりしていると、郵便物が届かなかったり、病気の時や買い物もいわき迄行っているという話を聞くと、何の為に帰ったのだらうかと考えるがあります。そういった不都合がなくなるとこそ帰町した人達が安心して暮らせるのではないかと思います。まだまだ不透明な東電の言う事は信じる事も出来ず、本当の事は何なのか分かりません。(60代)

IV 參考資料

4-1 使用調査票

楡葉町 住民意向調査

記入上の注意

● 調査をお願いする方

- ご回答は、楡葉町住民の**世帯の代表者の方**にお願いいたします。
- 現在世帯が何か所かに分かれて避難されている場合には、**それぞれの場所にお住まいの代表者の方**にご回答をお願いいたします。

● ご回答方法

- ご回答は、あてはまる番号を選び、その番号に○をつけてください。
- 前から順番に回答を進めてください。途中、「問〇〇へ」などと質問を飛ばすように指定がある場合には、それに従って回答を進めてください。
- 「その他」に○をされた場合は、() 内に具体的な内容をご記入ください。
- の中に記入をお願いしている質問には、地名、数などを具体的に記入ください。
- 調査票の最終ページに「氏名」、「住所」、「連絡先」のご記入をお願いする箇所がございますが、空欄のままでも構いません。

● 個人情報の取扱いについて

回答はすべて統計的な処理を行い、個人の特定につながるような内容が公表されることはありません。

● ご提出方法

- ご記入済みの調査票は、**10月16日(月)まで**に、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函してください（切手は不要です）。
- 仮設住宅にお住まいの方は、同封の返信用封筒に入れ、生活支援相談員又は仮設集会所の担当に渡していただいても結構です。

【お問い合わせ先】 ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

復興庁
「住民意向調査」
問い合わせセンター

調査の趣旨、記入方法について

フリーダイヤル 0120-901-847

[設置期間：10月3日(火)～10月16日(月) 平日10時～17時]

福島県

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号

避難地域復興局 生活拠点課

Tel 024-521-8617

楡葉町

〒979-0696 福島県双葉郡楡葉町大字北田字鐘突堂5番6号

楡葉町役場 復興推進課

Tel 0240-23-6103

はじめに、ご記入いただくあなたご自身のことについて教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問1 性別（○は1つ）

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

【すべての方にうかがいます。】

問2 あなたの現在の年齢（○は1つ）

- | | | |
|----------|-----------|-----------|
| 1 ~19歳 | 6 40~44歳 | 11 65~69歳 |
| 2 20~24歳 | 7 45~49歳 | 12 70~74歳 |
| 3 25~29歳 | 8 50~54歳 | 13 75~79歳 |
| 4 30~34歳 | 9 55~59歳 | 14 80歳以上 |
| 5 35~39歳 | 10 60~64歳 | |

東日本大震災発生当時のあなたの状況について教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問3 震災発生当時にお住まいだった地区を以下から教えてください。（○は1つ）

- | | | | |
|-------|--------|--------|--------------------------|
| 1 旭ヶ丘 | 8 山田岡 | 15 前原 | 22 その他 |
| 2 菅団 | 9 山田浜 | 16 大坂 | ※わからない場合は住所
を記載してください |
| 3 乙次郎 | 10 女平 | 17 大谷 | 〔 〕 |
| 4 下井出 | 11 松館 | 18 榎木下 | |
| 5 下小埜 | 12 上井出 | 19 波倉 | |
| 6 下繁岡 | 13 上小埜 | 20 繁岡 | |
| 7 山所布 | 14 上繁岡 | 21 北田 | |

【すべての方にうかがいます。】

問4 あなたは、震災発生当時、世帯主でしたか。（○は1つ）

- | | |
|------------|---------------|
| 1 当時世帯主だった | 2 当時世帯主ではなかった |
|------------|---------------|

【すべての方にかがいます。】

問5 「震災発生当時」に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。
あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。
(人数で回答)

ア) 未就学児(小学校入学前)	人	エ) 高校生	人
イ) 小学生	人	オ) 15～64歳(中学・高校生を除く)	人
ウ) 中学生	人	カ) 65歳以上の方	人

【すべての方にかがいます。】

問6 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。(○は1つ)

1 持ち家(一戸建)	} ⇒ 問7へ	7 家族のどなたかのお住まい・実家	} ⇒ 問8へ
2 持ち家(集合住宅)		8 親戚・知人宅	
3 民間賃貸住宅(一戸建)	} ⇒ 問8へ	9 その他	
4 民間賃貸住宅(集合住宅)		〔具体的に〕	
5 公営住宅			
6 給与住宅(社宅など)			

【問6で、「1 持ち家(一戸建)」または「2 持ち家(集合住宅)」と回答した方にかがいます。】

問7 震災発生当時にお住まいだった持ち家(自宅)は、今後どのようにされる予定ですか。(○は1つ)

1 被害がなく(または軽微であり)、修繕が不要	} ⇒ 問8へ
2 すでに修繕済	
3 現在修繕中	
4 今後すぐに(1年未満)修繕する予定	
5 今後1～2年以内に修繕する予定	
6 今後修繕を行う予定であるが、時期は未定	
7 特に修繕を行わず、そのままにする	
8 解体する(その後、建て替える予定)	
9 解体する(現時点で、建て替える予定はない)	
10 すでに解体し、建て替え済み	
11 すでに解体済み(今後、建て替える予定)	
12 すでに解体済み(現時点で、建て替える予定はない)	
13 現時点では判断していない	
14 その他〔具体的に〕	

現在のあなたの状況について教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問 8 現在の世帯構成についてうかがいます。現在、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。あなたご自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 未就学児 (小学校入学前)	人	エ) 高校生	人
イ) 小学生	人	オ) 15～64 歳 (中学・高校生を除く)	人
ウ) 中学生	人	カ) 65 歳以上の方	人

【すべての方にうかがいます。】

問 9 震災発生当時ご一緒にお住まいであった家族は、現在、何か所に分散してお住まいですか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1 世帯でまとまって居住 (一人暮らし含む) | 3 合計 3 か所に分散 |
| 2 合計 2 か所に分散 | 4 合計 4 か所以上に分散 |

【すべての方にうかがいます。】

問 10 現在のあなたの職業を教えてください。現在、仕事に就いている方は、業種も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合には、主な収入源になっているものを選択してください。

問 10(1) 職業 (就業形態) (○は1つ)

- | | | |
|--------------------------|-----------------|-------------------|
| 1 自営業・会社経営者
(継続中・再開済) | 8 学生 | } ⇒ 問 11 へ |
| 2 自営業・会社経営者(休業中) | 9 無職 (職を探していない) | |
| 3 会社員 (事務) | 10 無職 (職を探している) | |
| 4 会社員 (労務) | 11 その他 | (具体的に) |
| 5 団体職員 | | |
| 6 公務員 | | |
| 7 パート・アルバイト | | |

【就業している方にうかがいます。】

問 10(2) 業種 (○は1つ)

- | | | |
|-------------|------------------|----------|
| 1 農・林・漁・畜産業 | 6 運輸業 | 11 公務 |
| 2 建設業 | 7 卸・小売り・飲食、サービス業 | 12 その他 |
| 3 製造業 | 8 金融・保険業 | (具体的に) |
| 4 電気業 | 9 医療・福祉 | |
| 5 ガス・水道業 | 10 教育 | |

【問 11 は、震災発生当時の職業が自営業・会社経営者以外（会社員、団体職員、公務員、パート・アルバイト、学生、無職、その他）の方がご回答ください。】

問 11(1) 今後の職業について、どのようにお考えですか。（○は1つ）

1 震災発生当時から同じ職場で働いており、今後も働きたい	} 問 12 へ
2 震災発生後に転職または就職し、今後も現在の職場で働きたい	
3 今後、 檜葉町 で職場が見つかるのなら、そこで働きたい	→ 問 11(2) へ
4 今後、 檜葉町以外 [*] の職場で働きたい ※希望地があれば、具体的にご記入ください。	} 問 12 へ
<input type="text"/> (都・道・府・県) <input type="text"/> (市・町・村・区)	
5 今後、働く予定はない	} 問 12 へ
6 その他 (具体的に)	

【問 11(1)で、「3 今後、檜葉町で職場が見つかるのなら、そこで働きたい」と回答した方にうかがいます。】

問 11(2) 今後、町内で職場を探し、仕事をする上で何か支障となること、支援策として事業者や行政に望むことがありましたら、自由なお考えをご回答ください。

(例 町内の住居を解体してしまったので、社宅等の整備を支援して欲しい。)

【すべての方にうかがいます。】

問 12 現状及びこれからのお住まいについてお答えください。（○は1つ）

1 檜葉町に戻っている	→問 13(5 ページ) へ
2 早期に檜葉町に戻る	→問 14(6 ページ) へ
3 条件が整えば、檜葉町に戻る	→問 15(8 ページ) へ
4 檜葉町には戻らない（他市町村での自主再建の方も含む）	→問 16(10 ページ) へ
5 戻るかどうかについて、今はまだ判断ができない	→問 17(11 ページ) へ

【問 13 は、問 12 で、「1 檜葉町に戻っている」と回答した方にうかがいます。】

問 13(1) 現在、檜葉町内でお住まいの住宅は、どのような形態ですか。(○は1つ)

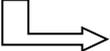
1 元の持ち家（自宅）（建て替えた場合を含む）	7 民間賃貸住宅（集合住宅）
2 元の自宅とは別の町内の場所に、新たに一戸建の持ち家を建てた	8 給与住宅（社宅など）
3 元の自宅とは別の町内の場所に、中古住宅を購入した	9 家族のどなたかのお住まい・実家
4 町営住宅	10 親戚・知人宅
5 災害公営住宅	11 その他
6 民間賃貸住宅（一戸建）	（具体的に）

問 13(2) 檜葉町内での生活において、更に必要だと感じていることについてお答えください。(○はいくつでも)

1 防犯体制の強化	8 水道水等、生活用水の安全対策
2 雇用確保の支援	9 公営住宅の整備
3 商業施設の再開・充実	10 教育環境の充実
4 鉄道等の公共交通機関の再開・充実	11 継続的な健康管理等、放射線に対する不安解消への取組、線量低減対策
5 医療施設の拡充	12 その他
6 介護・福祉施設の再開・充実	（具体的に）
7 町内コミュニティ活動（行政区等の活動も含む）への支援	

問 13(3) 問 13(2) で選択した「更に必要だと感じていること」のうちで、具体的なお考えがあれば、選択肢番号を下記の欄にご記入の上、自由なお考えをご回答ください。

問 13(2) の 選択肢番号	自由なお考え
(例) 7	コミュニティ形成につながる活動を町に支援して欲しい。

 **問 19 (14 ページ) へ**

【問 14 は、問 12 で、「2 早期に楡葉町に戻る」と回答した方にうかがいます。】

問 14(1) あなたが現在お住まいの自治体名を教えてください。(○は1つ)

1 いわき市	6 福島県内のその他の市町村 (具体的にご記入ください。)
2 会津美里町	→ <input type="text"/> (市・町・村)
3 福島市	7 福島県外 (具体的にご記入ください。)
4 郡山市	→ <input type="text"/> (都・道・府・県) <input type="text"/> (市・町・村・区)
5 会津若松市	

問 14(2) 現在お住まいの住居は、どのような住居形態ですか。(○は1つ)

1 応急仮設住宅	7 親戚・知人宅
2 借上げ住宅	8 持ち家 (一戸建)
3 公営住宅 (有償)	9 持ち家 (集合住宅)
4 民間賃貸住宅 (有償)	10 その他
5 給与住宅 (社宅など)	【 具体的に 】
6 家族のどなたかのお住まい・実家	

問 14(3) 楡葉町に戻るタイミングはいつですか。(○は1つ)

1 町内に新たな住まいが完成したら	5 その他
2 町内にある住まいの改修が完了したら	【 具体的に 】
3 子どもの進学のと時期に合わせて	
4 仮設住宅・借り上げ住宅の供与終了に合わせて	

問 14(4) 楡葉町に戻る時期について、現在のお考えをお聞かせください。(○は1つ)

1 平成 30 年 3 月までに	2 1 年以内	3 2 年以内	4 2 年超
------------------	---------	---------	--------

問 14(5) 楡葉町への帰還後、どのような家族構成になると考えていますか。**あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢**にあてはまる人数でご回答ください。
(人数で回答)

ア) 未就学児 (小学校入学前)	人	エ) 高校生	人
イ) 小学生	人	オ) 15~64 歳 (中学・高校生を除く)	人
ウ) 中学生	人	カ) 65 歳以上の方	人

問 14(6) 檜葉町に帰還した場合のお住まいは、どのような形態を予定されていますか。(○は1つ)

1 元の持ち家(自宅)(建て替える場合を含む)	7 民間賃貸住宅(一戸建)
2 元の自宅とは別の町内の場所に、新たに一戸建の持ち家を建てる	8 民間賃貸住宅(集合住宅)
3 元の自宅とは別の町内の場所に、新たに分譲集合住宅を購入する	9 給与住宅(社宅など)
4 元の自宅とは別の町内の場所に、中古住宅を購入する	10 家族のどなたかのお住まい・実家
5 町営住宅	11 親戚・知人宅
6 災害公営住宅	12 その他
	(具体的に)
	13 現時点では判断していない

問 14(7) 檜葉町内での今後の生活において、必要だと感じていることについてお答えください。(○はいくつでも)

1 防犯体制の強化	8 水道水等、生活用水の安全対策
2 雇用確保の支援	9 公営住宅の整備
3 商業施設の再開・充実	10 教育環境の充実
4 鉄道等の公共交通機関の再開・充実	11 継続的な健康管理等、放射線に対する不安解消への取組、線量低減対策
5 医療施設の拡充	12 その他
6 介護・福祉施設の再開・充実	(具体的に)
7 町内コミュニティ活動(行政区等の活動も含む)への支援	

問 14(8) 問 14(7)で選択した「必要だと感じていること」のうちで、具体的なお考えがあれば、選択肢番号を下記の欄にご記入の上、自由なお考えをご回答ください。

問 14(7)の 選択肢番号	自由なお考え
(例) 7	コミュニティ形成につながる活動を町に支援して欲しい。

 **問 18 (12 ページ) へ**

【問 15 は、問 12 で、「3 条件が整えば、檜葉町に戻る」と回答した方にうかがいます。】

問 15(1) あなたが現在お住まいの自治体名を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|---------|---|
| 1 いわき市 | 6 福島県内のその他の市町村 (具体的にご記入ください。) |
| 2 会津美里町 | → <input type="text"/> (市・町・村) |
| 3 福島市 | 7 福島県外 (具体的にご記入ください。) |
| 4 郡山市 | → <input type="text"/> (都・道・府・県) <input type="text"/> (市・町・村・区) |
| 5 会津若松市 | |

問 15(2) 現在お住まいの住居は、どのような住居形態ですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1 応急仮設住宅 | 7 親戚・知人宅 |
| 2 借上げ住宅 | 8 持ち家 (一戸建) |
| 3 公営住宅 (有償) | 9 持ち家 (集合住宅) |
| 4 民間賃貸住宅 (有償) | 10 その他 |
| 5 給与住宅 (社宅など) | 〔 具体的に
〕 |
| 6 家族のどなたかのお住まい・実家 | |

問 15(3) 檜葉町に戻る時期について、現在のお考えをお聞かせください。(○は1つ)

- | | | |
|------------------|---------|---------|
| 1 平成 30 年 3 月までに | 3 2 年以内 | 5 5 年以内 |
| 2 1 年以内 | 4 3 年以内 | 6 5 年超 |

問 15(4) 檜葉町への帰還後、どのような家族構成になると考えていますか。あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。

(人数で回答)

ア) 未就学児 (小学校入学前)	人	エ) 高校生	人
イ) 小学生	人	オ) 15~64 歳 (中学・高校生を除く)	人
ウ) 中学生	人	カ) 65 歳以上の方	人

問 15(5) 檜葉町に帰還した場合のお住まいは、どのような形態を予定されていますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------------|--------------------|
| 1 元の持ち家(自宅)(建て替える場合を含む) | 7 民間賃貸住宅(一戸建) |
| 2 元の自宅とは別の町内の場所に、新たに一戸建の持ち家を建てる | 8 民間賃貸住宅(集合住宅) |
| 3 元の自宅とは別の町内の場所に、新たに分譲集合住宅を購入する | 9 給与住宅(社宅など) |
| 4 元の自宅とは別の町内の場所に、中古住宅を購入する | 10 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 5 町営住宅 | 11 親戚・知人宅 |
| 6 災害公営住宅 | 12 その他
〔具体的に〕 |
| | 13 現時点では判断していない |

問 15(6) 檜葉町に戻るにあたり、あなたがその条件として考慮する項目について、あてはまるものをお選びください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|----------------------------|
| 1 自宅等住まいの再建 | 11 水道水等の生活用水に対する不安が解消されること |
| 2 放射線量の低減と不安の払拭 | 12 教育環境の充実 |
| 3 どの程度、住民が戻るか | 13 原子力発電所の安全性(事故収束や廃炉の状況) |
| 4 防犯対策の強化 | 14 賃貸住宅、公営住宅の整備 |
| 5 町内で仕事が見つかること | 15 その他
〔具体的に〕 |
| 6 商業施設の再開・充実 | |
| 7 鉄道等の公共交通機関の再開・充実 | |
| 8 医療施設の拡充 | |
| 9 介護・福祉施設の再開・充実 | |
| 10 町内コミュニティ活動(行政区等の活動も含む)の回復 | |

問 15(7) 問 15(6)で選択した「条件として考慮する項目」のうちで、具体的なお考えがあれば、選択肢番号を下記の欄にご記入の上、自由なお考えをご回答ください。

問 15(6)の 選択肢番号	自由なお考え
(例) 10	コミュニティ形成につながる活動を町に支援して欲しい。

 **問 18 (12 ページ) へ**

問 16 は、問 12 で、「4 檜葉町には戻らない（他市町村での自主再建の方も含む）」と回答した方にうかがいます。

問 16(1) あなたが現在お住まいの自治体名を教えてください。（○は1つ）

- | | |
|---------|---|
| 1 いわき市 | 6 福島県内のその他の市町村（具体的にご記入ください。） |
| 2 会津美里町 | → <input type="text"/> (市・町・村) |
| 3 福島市 | 7 福島県外（具体的にご記入ください。） |
| 4 郡山市 | → <input type="text"/> (都・道・府・県) <input type="text"/> (市・町・村・区) |
| 5 会津若松市 | |

問 16(2) 現在お住まいの住居は、どのような住居形態ですか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1 応急仮設住宅 | 7 親戚・知人宅 |
| 2 借上げ住宅 | 8 持ち家（一戸建） |
| 3 公営住宅（有償） | 9 持ち家（集合住宅） |
| 4 民間賃貸住宅（有償） | 10 その他 |
| 5 給与住宅（社宅など） | 〔具体的に〕 |
| 6 家族のどなたかのお住まい・実家 | 〕 |

問 16(3) 檜葉町に戻らないと決めている理由はどのようなことですか。

（○はいくつでも）

- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| 1 自宅が荒廃しているから | 11 水道水等の生活用水の安全性に不安があるから |
| 2 自宅周辺の放射線量が心配だから | 12 教育環境に不安があるから |
| 3 自宅周辺に住む人が少ないから | 13 原子力発電所の安全性に不安が残っているから |
| 4 町内の治安が心配だから | 14 賃貸住宅・公営住宅の整備が十分でないから |
| 5 町外で働いているから | 15 その他 |
| 6 商業施設の再開が十分でないから | 〔具体的に〕 |
| 7 道路、鉄道面において、移動交通が不便だから | 〕 |
| 8 医療施設が十分でないから | |
| 9 介護・福祉施設の再開が十分でないから | |
| 10 町内コミュニティの回復が十分でないから（行政区等を含む） | |

問 16(4) 今後、檜葉町との関係をどのようにお考えですか。（○はいくつでも）

- | | |
|-------------------------------|------------------|
| 1 移転した場所に住みながら、定期的に檜葉町へ行き来したい | 4 檜葉町との関係はなくてもよい |
| 2 檜葉町の祭事などに参加したい | 5 その他 |
| 3 檜葉町の地域活動や行政に協力していきたい | 〔具体的に〕 |
| | 〕 |

問 16(5) 今後、必要な支援はどのようなことですか。（○はいくつでも）

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 檜葉町の情報の提供 | 5 空き地空き家バンクの登録の支援 |
| 2 住宅再建の支援情報の提供 | 6 支援は特に必要ない |
| 3 就労の支援情報の提供 | 7 その他 |
| 4 交流の場の開催 | 〔具体的に〕 |
| | 〕 |

➡ **問 18 (12 ページ) へ**

【問 17 は、問 12 で、「5 戻るかどうかについて、今はまだ判断ができない」と回答した方にうかがいます。】

問 17(1) あなたが現在お住まいの自治体名を教えてください。(○は1つ)

1 いわき市	6 福島県内のその他の市町村 (具体的にご記入ください。)
2 会津美里町	→ <input type="text"/> (市・町・村)
3 福島市	7 福島県外 (具体的にご記入ください。)
4 郡山市	→ <input type="text"/> (都・道・府・県) <input type="text"/> (市・町・村・区)
5 会津若松市	

問 17(2) 現在お住まいの住居は、どのような住居形態ですか。(○は1つ)

1 応急仮設住宅	7 親戚・知人宅
2 借上げ住宅	8 持ち家 (一戸建)
3 公営住宅 (有償)	9 持ち家 (集合住宅)
4 民間賃貸住宅 (有償)	10 その他 (具体的に
5 給与住宅 (社宅など))
6 家族のどなたかのお住まい・実家	

問 17(3) 檜葉町に戻るかどうかの判断をする際に、あなたが参考にする項目について、あてはまるものをお選びください。(○はいくつでも)

1 自宅等住まいの再建	11 水道水等、生活用水への対策
2 放射線量の低下の状況	12 学校等、教育環境に関すること
3 どの程度の住民が戻るかの状況	13 原子力発電所の安全性 (事故収束や廃炉の状況)
4 町内の治安の状況	14 民間賃貸住宅、公営住宅の整備状況
5 働く場所の確保の目途	15 その他
6 商業施設の再開・充実の状況	(具体的に
7 交通の利便性	
8 医療施設の充実度	
9 介護・福祉施設の充実度	
10 町内コミュニティがどの程度回復しているか (行政区等の活動も含む)	

➡ **問 18 (12 ページ) へ**

【問 18 は、問 12 で、「2 早期に楡葉町に戻る」「3 条件が整えば、楡葉町に戻る」「4 楡葉町には戻らない（他市町村での自主再建の方も含む）」「5 戻るかどうかについて、今はまだ判断ができない」と回答した方にうかがいます。】

問 18(1) 平成 30 年 4 月以降のお住まいは、すでに決まっていますか。(○は 1 つ)

- 1 決まっている → 問 18(2)へ 2 決まっていない → 問 18(4)へ

【問 18(1)で「1 決まっている」と回答した方にうかがいます。】

問 18(2) 平成 30 年 4 月以降にお住まいの自治体名を教えてください。(○は 1 つ)

- | | |
|---------|---|
| 1 楡葉町 | 7 福島県内のその他の市町村（具体的にご記入ください。） |
| 2 いわき市 | → <input type="text"/> (市・町・村) |
| 3 会津美里町 | |
| 4 福島市 | 8 福島県外（具体的にご記入ください。） |
| 5 郡山市 | → <input type="text"/> (都・道・府・県) <input type="text"/> (市・町・村・区) |
| 6 会津若松市 | |

【問 18(1)で「1 決まっている」と回答した方にうかがいます。】

問 18(3) 平成 30 年 4 月以降のお住まいは、どのような住居形態ですか。(○は 1 つ)

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1 公営住宅（有償） | 7 持ち家（集合住宅） |
| 2 民間賃貸住宅（有償） | 8 町営住宅 |
| 3 給与住宅（社宅など） | 9 災害公営住宅 |
| 4 家族のどなたかのお住まい・実家 | 10 その他（具体的に |
| 5 親戚・知人宅 | ） |
| 6 持ち家（一戸建） | |

↳ **問 19 (14 ページ) へ**

【問 18(1)で「2 決まっていない」と回答した方にうかがいます。】

問 18(4) 平成 30 年 4 月以降の住居の確保について、お考えに近いもの 1 つお選びください。(○は 1 つ)

- | | |
|-------------------|---|
| 1 自身で住居を確保する | |
| 2 行政機関（役場等）に相談したい | |
| 3 その他（具体的に | ） |
| 4 わからない | |

【問 18(1)で「2 決まっていない」と回答した方にうかがいます。】

問 18(5) 平成 30 年 4 月以降、どの自治体に住むことを希望しますか。(○は 1 つ)

1 檜葉町	7 福島県内のその他の市町村 (具体的にご記入ください。)
2 いわき市	→ <input type="text"/> (市・町・村)
3 会津美里町	
4 福島市	8 福島県外 (具体的にご記入ください。)
5 郡山市	→ <input type="text"/> (都・道・府・県) <input type="text"/> (市・町・村・区)
6 会津若松市	9 わからない

【問 18(1)で「2 決まっていない」と回答した方にうかがいます。】

問 18(6) 平成 30 年 4 月以降、どのような住居形態を希望しますか。(○は 1 つ)

1 公営住宅 (有償)	7 持ち家 (集合住宅)
2 民間賃貸住宅 (有償)	8 町営住宅
3 給与住宅 (社宅など)	9 災害公営住宅
4 家族のどなたかのお住まい・実家	10 その他 [具体的に]
5 親戚・知人宅	
6 持ち家 (一戸建)	11 わからない

 **問 19 (14 ページ) へ**

【すべての方にうかがいます。】

問 19

町の復興に対して、日頃お感じになっているお気持ちや今後のあなたの展望などを自由にお書きください。

本調査を踏まえ、檜葉町から町民の皆様へ支援等の情報を提供させていただく場合がございますので、差支えなければ、ご氏名、現在のご住所、ご連絡先についてご記入いただけますと幸いです。なお、ご氏名等は空欄のままでも構いません。

1 あなたの氏名

2 現在のあなたの住所（番地、建物名、部屋番号までご記入ください）

3 あなたの連絡先（電話番号）

**以上でご回答いただく内容は終わりです。
調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。**

**同封の返送用封筒にご記入済みの調査票を入れて、
10月16日(月)までに郵便ポストに投函してください(切手は不要です)。**

**楡葉町 住民意向調査
報告書**

平成 30 年3月

復興庁 福島県 楡葉町

調査機関:株式会社サーベイリサーチセンター

